

(様式第10)

口大医総第646号  
平成28年10月3日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人山口大学  
岡 正



山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏 名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

山口大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 電話(0836)22-2111
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等 1 呼吸器内科 2 消化器内科 3 循環器内科 4 神経内科 5 アレルギー科 6 リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に

ついて記入すること。

- (注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。
- (注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 消化器外科 3 心臓血管外科 4 小児外科		
診療実績		

- (注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科		
歯科の診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 心療内科	2 臨床検査科	3 病理診断科	4 リハビリテーション科
--------	---------	---------	--------------

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
51床	床	床	床	685床	736床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	209人	213人	329.5人	看 護 補 助 者	55人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	13人	17.2人	理 学 療 法 士	11人	臨床検査技師	58人
薬 剤 師	48人	1人	48.7人	作 業 療 法 士	6人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	29人	0人	29人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	720人	34人	744.4人	臨 床 工 学 士	12人	医療社会事業従事者	3人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	7人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	210人
管理栄養士	11人	0人	11人	診療放射線技師	40人	そ の 他 の 職 員	39人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	22人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	32人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	11人
精 神 科 専 門 医	7人	放 射 線 科 専 門 医	8人
小 児 科 専 門 医	17人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13人
皮 膚 科 専 門 医	4人	整 形 外 科 専 門 医	16人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	14人
産 婦 人 科 専 門 医	12人	救 急 科 専 門 医	14人
		合 計	191人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 病院長 田口 敏彦 ) 任命年月日 平成25年 4月 1日

--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	589.7 人	14.5 人	604.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,253.0 人	68.2 人	1,321.2 人
1日当たり平均調剤数	2754 剤		
必要医師数	136.36 人		
必要歯科医師数	6 人		
必要薬剤師数	21 人		
必要(准)看護師数	348 人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	245 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 584 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 5 台		病床数	38 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 47 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	435 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学血液検分析装置及びライン			
細菌検査室	87 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置			
病理検査室	306 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	479 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器			
研究室	10,869m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム、GenchipScanner300			
講義室	1,837 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	10室	収容定員	1,284人
図書室	589 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	18室	蔵書数	16万冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	85.6%	逆紹介率	55.8%
算出根拠	A：紹介患者の数	10,655人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,653人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,075人	
	D：初診の患者の数	13,699人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	





(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。



## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	41
2	筋萎縮性側索硬化症	19	57	特発性拡張型心筋症	34
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	2
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	6	60	再生不良性貧血	17
6	パーキンソン病	155	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	41
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	2
11	重症筋無力症	63	66	IgA 腎症	8
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	7
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	73	68	黄色靱帯骨化症	34
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	35	69	後縦靱帯骨化症	115
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	33
17	多系統萎縮症	8	72	下垂体性ADH分泌異常症	1
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	54	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	44
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	5	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	80
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	6
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	8
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	3
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	0
35	天疱瘡	11	90	網膜色素変性症	19
36	表皮水泡症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	44
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	15	95	自己免疫性肝炎	5
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	88
42	結節性多発動脈炎	9	97	潰瘍性大腸炎	140
43	顕微鏡的多発血管炎	21	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	8	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	17	102	ルピンシュタイン・テイピ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	140	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	55	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	59	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	15	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	5	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	2	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	フラウ症候群	0

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリクス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頰回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名		患者数	疾患名		患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	2
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モット症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	2	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	14

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救命救急入院料4
・歯科外来診療環境体制加算	・特定集中治療室管理料4
・特定機能病院入院基本料	・総合周産期特定集中治療室管理料
・超急性期脳卒中加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・診療録管理体制加算2	・小児入院医療管理料2
・医師事務作業補助体制加算1	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算2	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・
・データ提出加算2	・
・退院支援加算2	・
・精神疾患診療体制加算	・
・救命救急入院料3	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・高度難聴指導管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・がん性疼痛緩和指導管理料	・神経学的検査
・がん患者指導管理料1	・補聴器適合検査
・がん患者指導管理料2	・コンタクトレンズ検査料1
・外来緩和ケア管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・内服・点滴誘発試験
・糖尿病透析予防指導管理料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・外来放射線照射診療料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携計画策定料	・CT撮影及びMRI撮影
・肝炎インターフェロン治療計画料	・冠動脈CT撮影加算
・薬剤管理指導料	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料1	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料2	・乳房MRI撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・外来化学療法加算1
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・無菌製剤処理料
・遺伝学的検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・HPV核酸検出	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・運動器リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・がん患者リハビリテーション料
・胎児心エコー法	・歯科口腔リハビリテーション料2
・時間内歩行試験	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・ヘッドアップティルト試験	・医療保護入院等診療料
・人工臓器検査、人工臓器療法	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・経皮的中心隔心筋焼灼術
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・硬膜外自家血注入	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・歯科技工加算1及び2	・腹腔鏡下肝切除術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・生体部分肝移植術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・同種死体腎移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術	・生体腎移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・膀胱水圧拡張術
・羊膜移植術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・網膜再建術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・輸血管管理料I
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・光トポグラフィー (抑うつ症状の鑑別診断の補助に使用するもの)	・
・羊膜移植術	・
・骨髄細胞移植による血管新生療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	毎月1回程度開催しており、平成27年度においては、6回開催している。
剖 検 の 状 況	剖検症例数 23 例 / 剖検率 11.4 %



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「サラシア属植物から抽出した天然植物エキスの生理機能解析及び特定保健用食品申請の準備試験	小林 誠	生体機能分子制御学 分野	4,860,000	補 委 (株)タカマ
めまい診療用次世代フレンツェル眼鏡と眼球運動解析システムの開発と実用化	山下 裕司	耳鼻咽喉科学分野	394,543	補 委 (株)YOODS
個別化医療に有用な遺伝子体外診断システムの研究開発	裕 彰一	消化器・腫瘍外科学 分野	28,530,000	補 委 (株)東洋鋼鉄
複数回投与と非培養ABM治療法の確立	坂井田 功	消化器病態内科学 分野	22,032,000	補 委 ハートライフ病院
新規免疫療法の臨床応用へ向けた基盤整備に関する研究 (旧:FITC-CAR-T細胞療法の開発)	玉田 耕治	免疫学分野	1,500,000	補 委 (研)国立がん研究センター
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	坂井田 功	消化器病態内科学	89,900,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明	山形 弘隆	精神科神経科	10,000,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
「効果的な複合免疫療法の確立」(オンコアンチゲン由来ペプチドワクチンにおけるバイオマーカーの検証と治療戦略の構築)	裕 彰一	消化器・腫瘍外科学 分野	58,000,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
安全に安心して分娩することができる環境づくり	杉野 法広	産科婦人科学分野	2,400,000	補 委 浜田市
がん治療標的探索プロジェクト (がん検体の臨床像解析)	裕 彰一	消化器・腫瘍外科学 分野	3,900,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
がん免疫細胞療法の臨床導入に向けた基盤整備に関する研究	玉田 耕治	免疫学分野	500,000	補 委 (研)国立がん研究センター
難治性ニューロパシーの診断技術と治療法の開発に関する研究	神田 隆	神経内科学分野	400,000	補 委 (研)国立精神・神経医療研究センター
がん認識抗体と遺伝子導入T細胞によるがん治療を目指した前臨床開発研究(革新的がん医療実用化研究事業)	玉田 耕治	免疫学分野	73,887,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
「免疫機構をターゲットとした創薬」(次世代型遺伝子改変T細胞による新規がん免疫療法の開発)	玉田 耕治	免疫学分野	60,000,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
肝臓再生療法のための革新的なアイソレータの開発	坂井田 功	消化器病態内科学	36,270,000	補 委 (研)日本医療研究開発機構
非代償性肝硬変患者に対する培養自己骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の安全性に関する研究	坂井田 功	消化器病態内科学	47,604,986	補 委 (研)日本医療研究開発機構
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	神田 隆	神経内科学分野	845,000	補 委 九州大学
地域医療研究	谷澤 幸生	病態制御内科学分野	400,000	補 委 国立国際医療研究センター
先天性赤芽球癆(Diamond-Blackfan貧血)の新規原因遺伝子の同定と病態解明に関する研究	大賀 正一	小児科学分野	500,000	補 委 弘前大学
慢性活動性EBV感染症および類縁疾患の病態解明	大賀 正一	小児科学分野	2,470,000	補 委 成育医療センター
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診断・治療効果評価の向上を目指したEBウイルスDNA量のエビデンスの構築	大賀 正一	小児科学分野	1,000,000	補 委 名古屋大学
門脈血行異常症に関する調査研究	坂井田 功	消化器病態内科学	130,000	補 委 久留米大学
前庭神経炎のペグヒスチン大量療法に関する研究	山下 裕二	耳鼻咽喉科学分野	350,000	補 委 徳島大学
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	松山 豪泰	泌尿器科学分野	299,000	補 委 九州大学
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学 分野	300,001	補 委 九州大学
手術検体を用いたHCV感染マウスの作成	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学 分野	1,500,000	補 委 大阪大学

小計 26

疲労に関連する客観的なバイオマーカーの検索	野島 順三	基礎検査学分野	600,000	補委	関西福科大学
脳卒中・循環器病の遠隔医療の開発と検証のための研究	鈴木 倫保	脳神経外科学分野	910,000	補委	北海道大学
創造的次世代医療実現化を担うAROの構築	園田 康平	眼科学分野	1,000,177	補委	九州大学
新物合法による安全・確実な細径管吻合を実現する吻合補助器の開発と実用化	上野 富雄	第一外科	648,287	補委	(株)ミヤハラ
予防医学に基づく機能性魚肉練り製品の開発と世界展開	梅本 誠治 川野 伶緒	臨床研究センター	1,300,000	補委	(株)マルハニチロ
創薬を目指したエビジェネティクス制御の分子技術	内田 周作	精神科神経科	12,350,000	補委	(研)科学技術振興機構
小線源の放射線強度の標準測定法の研究	川村 慎二	放射線部	400,000	補委	国立がんセンター
治験の実施に関する研究[A型ボツリヌス毒]	原 浩貴	耳鼻咽喉科	960,000	補委	日本医師会
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第三相臨床研究	出口 誠	脳神経外科	1,300,000	補委	久留米大学
再生医療による難治性皮膚潰瘍治療法の開発および培養システムの確立	濱野 公一	器官病態外科学分野	20,000,000	補委	山口県
てんかん病態の多面的計測による局所脳冷却制御技術の開発	鈴木 倫保	脳神経外科学分野	5,000,000	補委	山口県
医療・健康分野における水素応用技術開発	松本 美志也	麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	11,532,442	補委	山口県
肝細胞癌に発現する脂肪酸結合蛋白質(FABP)の機能解析	宮崎 啓史	医学系研究科	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピソード学習で動的に変化する海馬発火活動とCA1シナプスの多様な可塑性	美津島 大	システム神経科学分野	3,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
代謝変化によるストレス誘導性転写機構の調節	中井 彰	医化学分野	3,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん病態ダイナミクスの多面的計測による理解と局所脳冷却による制御	鈴木 倫保	脳神経外科学分野	31,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ミトコンドリアシグナルによる熱ショック応答の制御機構	中井 彰	医化学分野	5,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
末梢臓器における概日リズムの変調と代謝調節障害	谷澤 幸生	病態制御内科学分野	5,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代型の分子・神経ネットワーク基盤解析によるうつ病の病態解明	渡邊 義文	高次脳機能病態学分野	7,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
下肢虚血性潰瘍に対する低酸素刺激を加えた細胞シートによる治療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学分野	4,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
癌に対する次世代型CAR-T細胞療法の開発	玉田 耕治	免疫学分野	2,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中心体周囲物質から見た神経変性症原因分子とHAP1の形態機能の関係解明	篠田 晃	機能神経解剖学分野	1,700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ホスホランパンを標的とした低分子化合物による新たな心不全治療薬の研究開発	乾 誠	分子薬理学分野	3,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非細胞性バリアーを含むヒト血液神経閥門全容の解明とその人為的操作法の開発	神田 隆	神経内科学分野	3,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による子宮内膜の脱落膜化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	杉野 法広	産科婦人科学分野	1,800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
流体音響解析を応用した各構音運動の音源解明と口蓋裂言語の病態解明	三島 克章	歯科口腔外科学分野	2,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
快刺激を用いた介入による高齢者の睡眠改善およびせん妄予防効果	堤 雅恵	地域・老年看護学分野	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアジン受容体構造安定化による心不全・心肥大・致死的な不整脈の包括的治療戦略	矢野 雅文	器官病態内科学分野	3,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然炎症制御を基軸とした網膜自己再生促進	園田 康平	眼科学分野	3,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

集中治療におけるベッド上ベダリング運動による呼吸機能・下肢筋力・意欲への効果	佐伯 京子	臨床看護学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸器離脱プロトコルを用いた看護師によるウイニング実施の効果	山本 小奈実	臨床看護学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
栄養不足が起因する精神疾患におけるアストロサイト脂質ラフトの役割	香川 慶輝	器官解剖学分野	1,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管病発症におけるシグナル伝達機構の解明および分子標的治療法の探索	張 影	生体機能分子制御学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床応用を目的とした新規心不全治療薬、ホスホランパンアブタマーの開発	酒井 大樹	分子薬理学分野	1,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍悪死が引き起こす栄養シグナル・浸透圧シグナルに着目したヒト胚芽腫の病態	石井 文彩	病理形態学分野	1,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝星細胞のエネルギー代謝に着目した肝硬変抑制法の開発	岩本 拓也	消化器病態内科学分野	1,800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄虚血再灌流障害を軽減させる細胞外microRNAの探索	上野 耕司	附属再生医療教育研究センター	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高線量率四次元動物体追跡照射の高精度化に向けた新しい品質管理法の開発	椎木 健裕	放射線治療学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胚β細胞分化機構解明に基づく糖尿病治療の研究	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学(MSD)講座)	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫抑制機構と腫瘍特異性の両方を制御する遺伝子改変技術を利用した癌免疫療法の開発	佐古田 幸美	免疫学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄移植後合併症の新規予防・治療法開発:炎症関連因子の遺伝子解析と活性制御	山口 奈津	環境統御健康医学分野	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化促進マウスにおける牛車腎気丸によるインスリン抵抗性改善作用の検討	香川 正太	寄附講座(分子代謝制御学(MSD)講座)	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低分化型細胞株から独自方法で誘導した浮遊細胞塊の解析による癌幹細胞治療標的の検討	恒富 亮一	消化器・腫瘍外科学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌に対するWarburg効果阻害に着目した新規治療法の開発	原田 豊子	歯科口腔外科学分野	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔癌に対するドセタキセル併用化学療法の新規効果予測因子の同定	FERDOUS TARANNUM	歯科口腔外科	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
負の記憶の符号化における海馬θ波とシナプス可塑性の動的変化	崎本 裕也	システム神経科学分野	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん微小環境中にリンパ組織様構造の形成を誘導する新規細胞免疫療法の開発	安達 圭志	免疫学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪酸結合蛋白質の脂質代謝制御による高次脳機能発現調節	山本 由似	器官解剖学分野	1,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の新たな検査診断法の確立と病態発症機序の解明	本木 由香里	基礎検査学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高血圧者の長期飲酒とアルコール性肝障害進展における交感神経系の関連性の検討	白鳥 彩子	法医・生体侵襲解析医学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ライブイメージング技術を用いた細菌性髄膜炎ワクチン効果の解明	荻野 英賢	ゲノム・機能分子解析学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
microRNAがもたらす神経可塑性変化によって抗うつ効果が発揮されるか?	樋口 文宏	高次脳機能病態学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜における転写因子によるヒストン修飾を介した新たな遺伝子発現制御機構の解明	城崎 幸介	産科婦人科	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アラミンシグナルを介した角膜潰瘍形成の分子機序解明	折田 朋子	眼科学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸器患者におけるVAPケアアプリの開発とVAP予防効果及び看護ケアへの影響	田戸 朝美	臨床看護学分野	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少な染色体異常症を対象とした看護支援プラン構築に関する研究	沓脱 小枝子	母子看護学分野	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
死産・新生児死亡を経験した父親の適応プロセスとケア・ニーズ	河本 恵理	母子看護学分野	400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小規模高齢化集落における健康寿命をエンドポイントにした前向きコホート研究	長谷 亮佑	環境保健医学分野	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多面的脳血流イメージングによる脳脊髄病巣周囲の血流動態モニタリング	五島 久陽	手術部	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
改訂版CNS-FACE家族アセスメントツールと家族介入モデルの開発	山勢 博彰	臨床看護学分野	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
癌に対する次世代型CAR-T細胞療法の開発	玉田 耕治	免疫学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中心体周囲物質から見た神経変性症原因分子とHAP1の形態機能の関係解明	篠田 晃	機能神経解剖学分野	100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ホスホランパンを標的とした低分子化合物による新たな心不全治療薬の研究開発	乾 誠	分子薬理学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非細胞性バリアーを含むヒト血液神経関門全容の解明とその人為的操作法の開発	神田 隆	神経内科学分野	400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による子宮内膜の脱落機化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	杉野 法広	産科婦人科学分野	400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
流体音響解析を応用した各構音運動の音線解明と口蓋裂言語の病態解明	三島 克章	歯科口腔外科学分野	300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
快刺激を用いた介入による高齢者の睡眠改善およびせん妄予防効果	堤 雅恵	地域・老年看護学分野	100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体構造安定化による心不全・心肥大・致死的不整脈の包括的治療戦略	矢野 雅文	器官病態内科学分野	1,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然炎症制御を基軸とした網膜自己再生促進	園田 康平	眼科学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大規模集塵における気候・呼吸変動を相加した心肺停止事故のリスク予知の研究	中村 浩士	病理形態学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメトリーを用いたコピー数多型解析のための細胞調整法の開発	佐々木 功典	山口大学	1,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ペットネコとの接触による猫ひっかき病のワクチン開発	大津山 賢一郎	医学教育学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微小血管病態に基づく抗MAG抗体関連ニューロパチーの新規治療法の探索	前田 敏彦	医療人育成センター	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代型心不全治療法の開発へ向けたゲノム編集による老化心筋幹細胞の若返り	濱野 公一	器官病態外科学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IGF-1のIGF受容体非依存性シグナル解析による創傷治療薬への応用	乾 誠	分子薬理学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HIV陽性者へのセクシュアルヘルス支援能力育成を目指した教育プログラムの開発評価	久野 暢子	基礎看護学分野	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
看護職を目指す発達障害学生への修学・キャリア支援策の開発と連携体制の構築	戸部 郁代	母子看護学分野	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
改変型Fc受容体を利用した新規がん免疫抗体療法の開発	玉田 耕治	免疫学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞内Ca <sup>2+</sup> 制御による新たな肥大型心筋症の分子標的療法の開発	矢野 雅文	器官病態内科学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液神経関門を構成するペリサイトを標的とした末梢神経内部環境変化の試み	神田 隆	神経内科学分野	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
第三の生命鎖である糖鎖を用いた簡便・低侵襲なうつ病バイオマーカーの探索	山形 弘隆	精神科神経科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌HSP70のHLA Class IIに対するpeptideの同定	岡 正朗	山口大学	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性腹部大動脈瘤の病因解明への新たな挑戦	吉村 耕一	器官病態外科学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メトロンは卵巣の加齢を食い止めることができるか	杉野 法広	産科婦人科学分野	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
眼組織基底膜の糖化最終産物検出と生体内における糖化最終産物検出臨床機器の開発	園田 康平	眼科学分野	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タイムスタディによる保健師の地域診断業務量と困難性の解明	守田 孝恵	地域・老年看護学分野	800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

発達期の運動技能の向上に認知機能に及ぼす効果	木田 裕之	システム神経科学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞死抑制の鍵分子としてHAPIに注目した老化と脳領域特異的神経変性の関連解明	藤永 竜太郎	機能神経解剖学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋細胞内への特異的薬物送達システムの開発と心疾患治療への応用	本田 健	分子薬理学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門機能の膜型メタロプロテアーゼによる制御機構の解析	池田 栄二	病理形態学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の検査診断ガイドラインの作成と病態発症機序の解明	野島 順三	基礎検査学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞の同定	山本 直樹	大学教育機構	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアジン受容体分子内シグナル伝達のキードメインを標的とした新しい不整脈治療	山本 健	器官病態内科学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
宿主アポトーシムと病原体のクロストークの解明による感染制御の新秩序の探索	白井 睦訓	ゲノム・機能分子解析学分野	1,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
亜急性硬化性全脳炎の病態解明とバイオマーカーの確立	長谷川 俊史	小児科学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の生物学的鑑別診断補助検査法の開発	松尾 幸治	高次脳機能病態学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高線量準動体追跡照射の新規導入を目指した次世代型4次元放射線治療計画法の開発	澁谷 景子	放射線治療学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
形質転換と階層的複製能によりみた治療抵抗性肝癌に対する個別化治療についての研究	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床応用に向けた重症心不全治療に対する骨髄細胞シートの新規治療戦略の構築	白澤 文吾	医学教育学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
機能賦活化した心筋幹細胞シートによる重症心不全治療	美甘 章仁	器官病態外科学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管成熟化に着目した重度末梢血管障害に対する新規細胞移植療法の開発	細山 徹	附属再生医療教育研究センター	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
In vivoモデルを用いた子宮筋腫の発生に関与するマスター遺伝子の特定	佐藤 俊	産科婦人科学分野	1,700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メタボリック症候群における難聴と血管障害の関係について	山下 裕司	耳鼻咽喉科学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
9軸センサによる頭位モニタリングと次世代VOGによる眼振の解析	橋本 誠	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症患者の睡眠評価を通じての炎症-せん妄-睡眠の連鎖	鶴田 良介	救急・総合診療医学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水素吸入療法を軸とした新たな頭部外傷の治療法の確立	藤田 基	救急・総合診療医学分野	1,700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症熱中症に対する水素を用いた新たな治療戦略	小田 泰崇	救急・総合診療医学分野	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
mTOR阻害に着目した老化防止と健康寿命延長につながる新規口腔癌治療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学分野	1,800,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
疾患モデルを用いた熱ショック転写因子HSP2が形成する転写複合体の機能解析	林田 直樹	医化学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ポリADPリボシル化酵素PARPによる熱ショック因子HSP1の転写制御機構	藤本 充章	医化学分野	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
潰瘍性大腸炎の安全な寛解維持療法に対する漢方薬の有効性	橋本 真一	第一内科	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞骨格制御の観点から難病疾患群に共通する病的シグナル伝達系を解明する	岸 博子	生体機能分子制御学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNAコピー数異常からアプローチするトリプルネガティブ乳癌の新規治療法の研究	近藤 智子	分子病理学分野	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便DNA検査による大腸癌新規スクリーニング法の開発	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学分野	1,400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

タグ付抗体産生マウスを利用した次世代型高感度抗体チップの開発と応用	古元 礼子	プロテオーム・蛋白質機能制御学分野	800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アルコール・心理ストレスによる動脈硬化性プラーク不安定化の機転に関する研究	劉 金耀	法医・生体侵襲解析医学分野	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然免疫系の活性制御システムの開発:難治性肉芽腫形成疾患の新規治療法開発	田邊 剛	環境統御健康医学分野	800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍性乾癬の発症機構の分子遺伝学的研究	武藤 正彦	皮膚科学分野	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌化学療法の個別化治療における高分解能CTの役割	田中 伸幸	放射線科	500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳血管塞栓のシグナル伝達-Rho-kinaseのラフトへの細胞内転位	白尾 敏之	脳神経外科学分野	1,200,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高血圧ラットを用いた特発性正常圧水頭症の発症機序の解明	野村 貞宏	脳神経外科学分野	1,000,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超低温による腸保護効果と免疫細胞の時系列的IL-23-IL-17産生との関連	松井 智浩	病態検査学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ニューログロビンを中心とした虚血応答システム活性化による脊髄保護に関する研究	松本 美志也	麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイコサペンタエン酸及びアラキドン酸比の脳血管反応性への影響と術後高次脳機能障害	石田 和慶	麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
加齢に伴う卵子の数および質の低下はメラトニンで予防できるか。	田村 博史	産科婦人科学分野	700,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜実質癒着形成における実質細胞分化転換誘導因子とアクチン重合関連タンパクの検討	森重 直行	眼科学分野	100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
継続した正しい療法が、がん疾患を有する人の健康に与える影響とそのデータベースの蓄積	田中 愛子	基礎看護学分野	500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢初産婦が産後1か月間の母親役割獲得過程に生じるストレスに関する縦断研究	藤岡 奈美	母子看護学分野	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスを果たす地域密着型事業所での看取りの実践	永田 千鶴	地域・老年看護学分野	800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
住民組織育成のための効果的な研修プログラムの開発-地域型組織に着目して-	檀原 三七子	地域・老年看護学分野	300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肥満者の炎症性腸疾患を寛解させる脂肪酸の同定と便検査法の開発	徳田 信子	基礎検査学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
情動による記憶形成機構	石川 淳子	システム神経科学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
スフェロイド培養法と病理組織学の対比から迫る膠芽腫の腫瘍内微小環境の病態	木村 徳宏	病理形態学分野	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
時計遺伝子DBP/E4BP4を介した脳β細胞による糖代謝制御機構	太田 康晴	分子代謝制御学(MSD)講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
日本人由来株を用いた高感度ELISA法による猫ひっかき病特異抗体の検出と病態解析	常岡 英弘	病態検査学分野	1,000,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
活性化血小板マイクロパーティクル特異的高感度定量法の開発と血栓形成促進作用の解明	岡野 こずえ	病態検査学分野	700,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄移植後合併症の新規予防法開発:新しいバイオマーカーとしての免疫抑制因子	高橋 秀和	環境統御健康医学分野	1,600,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
振動は血管を収縮するか? -25年前の凍結血漿の分析と急性振動負荷実験から-	原田 規章	環境保健医学分野	1,700,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱メチル化剤を用いたEBウイルス関連胃癌特異的治療の検討	西川 潤	基礎検査学分野	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高機能培養骨髄間葉系幹細胞による高効率な実践的肝臓再生療法の開発研究	高見 太郎	消化器病態内科学分野	1,200,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の発症メカニズムの解明と治療ターゲット分子の探索	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学分野	1,400,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門を介した脳内Aβ除去システムの構築	佐野 泰照	神経内科学分野	1,200,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
白血病発症に関与する時計遺伝子の解明と革新的治療の開発	湯尻 俊昭	病態制御内科学分野	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

喘息とCOPDのオーバーラップ症候群:分子生化学的アプローチによる病態生理の解明	松永 和人	呼吸器・感染症内科学分野	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
門脈圧亢進症に対するIVR治療と自己骨髄細胞投与療法による新規肝再生療法の開発	石川 剛	消化器病態内科学分野	1,400,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
c-MYC HIP-1による大腸癌の抗癌剤抵抗性獲得機構の解明	榎 忠彦	器官病態外科学分野	1,400,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん発作発現前の生理的脳内ネットワークの変遷に基づいた発作予知理論の実証	丸田 雄一	脳神経外科分野	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
閉経上皮転換の誘導による子宮肉腫の新規治療法の開発	村上 明弘	産科婦人科学分野	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
サイトメガロウイルス角膜炎の発症機序に対する免疫学的機能解析	山田 直之	眼科	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
組織損傷時に放出される細胞内タンパク質の細胞外機能と単球表面への結合機序	泉 友則	消化器病態内科学分野	1,400,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再発・転移口腔癌症例に対する新規治療戦略の開発-天寿癌を目指して-	上山 吉哉	歯科口腔外科学分野	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Using Q-methodology to establish the Health Beliefs of Japanese Australian and Thai nurses	STONE TERESA ELIZABETH	基礎看護学分野	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
先天異常をもつ妊婦・家族の意思決定支援-事例検討による教育プログラムの開発-	村上 京子	母子看護学分野	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児・小児における特発性血拴症の診断、予防および治療法の確立に関する研究	大賀 正一	小児科学分野	892,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝硬変患者への早期・積極的介入を目指した取り組みに関する研究	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学分野	10,000,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タンパク質をコードにしない長鎖RNAはストレス誘発性神経可塑性障害に関与するの か?	樋口 尚子	精神科神経科	528,716	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌におけるTROYおよびLGR5の予後予測マーカーとしての臨床的有用性	西岡 光昭	検査部	1,000,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
三次元光子照射療法を用いた薬剤塗布デバイスの性能評価と治療への応用	末富 建	器官病態内科学分野	2,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新型インフルエンザは気管支喘息の発症因子か?	松重 武志	小児科	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メラノーマの増殖、浸潤、転移におけるHSP1のターゲット遺伝子の同定と機能解析	中村 好貴	皮膚科	1,800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌におけるGalectin-9/Tim-3の発現と臨床病理学的因子の検討	前田 訓子	第二外科	1,200,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Cetuximab加療後大腸癌のNGSを用いた腫瘍浸潤リンパ球のTCR解析	井上 由佳	第二外科	1,800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Cardiosphere由来細胞シートは陳旧性心筋梗塞治療に有効か?	藏澄 宏之	第一外科	1,600,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞シートを利用した分泌因子のパラクリン効果による術後肺再生への挑戦	村上 順一	第一外科	1,700,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症頭部外傷に対する局所脳冷却を用いた急性期治療法の開発	奥 高行	脳神経外科	1,400,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
有限要素法を用いた脊髄症の病態解明と臨床への応用	西田 周泰	整形外科	1,500,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜間質細胞の脱糖酸化によって活性化されるグルコース代謝の生物学的意義の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	1,600,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
顆粒膜細胞の黄体化に伴うCyp11a1遺伝子発現に関するエピジェネティクス制御	岡田 真紀	産科婦人科	1,800,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
コラーゲン線維配列解析を基軸とした角膜透明性治療機構の解明	守田 裕希子	眼科	2,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
足場依存性喪失に関わる因子の機能解析による口腔癌悪性化の新規予測因子の開発	竹縄 隆徳	歯科口腔外科	1,900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
舌筋由来幹細胞とbioactive scaffoldを用いた新規骨再生法の開発	梅田 浩嗣	歯科口腔外科	1,700,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NIRSを用いたrealtime neurofeedbackによるうつ病治療の開発	松原 敏郎	保健管理センター	900,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

気分障害患者のスライジングファクターSRp20と脳病態との関連を解明する研究	綿貫 俊夫	精神科神経科	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Photodynamic therapyによる脳腫瘍幹細胞の根絶	貞廣 浩和	脳神経外科学分野	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞を用いた内耳保護候補薬物のスクリーニング	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	700,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウエスト症候群におけるACTH療法とVILIP-1濃度～治療予後予測が出来るか～	梶本 まどか	小児科	1,000,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
GluR1をターゲットにした早期抗うつ効果発現のメカニズム探索	芳原 輝之	精神科神経科	1,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経免疫疾患におけるバリア破綻機序の解明: 中枢、末梢神経のバリア機能の違いは何か	安部 真彰	医療人育成センター	900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知機能向上を目指した発達期運動効果の検討	木田 裕之	システム神経科学分野	1,500,000	補委	公益財団法人中富健康科学振興財団
冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 (REAL-CAD)	矢野 雅文	器官病態内科学分野	170,000	補委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
N-SAS BC07 HER2陽性の高齢者原発性乳がんに対する術後補助療法におけるトラスツマブ単剤と化学療法併用に関するランダム化比較試験	山本 滋	消化器・腫瘍外科学分野	50,000	補委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
肥大型心筋症におけるリアンジン受容体安定化による新しい分子標的療法の開発	奥田 真一	第二内科	2,000,000	補委	公益財団法人武田科学振興財団
細胞保護に関わる新規封入体stigmoid bodyの構成要素解析	柳井 章江	機能神経解剖学分野	200,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
幹細胞の成体内輸送法の開発: 脂質二重膜への細胞内包術は幹細胞移植治療に有用か?	細山 徹	附属再生医療教育研究センター	180,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
内閣府ワンストップセンター設置事業に関する研修会 性暴力救急センター大阪の5年間の対応の現状	高瀬 泉	法医・生体侵襲解析医学分野	160,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
キーストンシグナルカンファレンス、低酸素応答: 基礎メカニズムから疾患治療まで	細山 徹	附属再生医療教育研究センター	120,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
AEDを地域に広める会によるAED啓発活動と講習会	相楽 章江	看護部	130,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
急性巣状細菌性腎炎の病態解明と治療法の確立	水谷 誠	小児科学分野	450,000	補委	公益財団法人森永奉仕会
JFMC37-0801 結腸癌治療切除例術後補助化学療法カベシタビンランダム化第3相比較臨床試験	裕 彰一	消化器・腫瘍外科学分野	45,000	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究	椎木 幾久子	学術研究員	450,000	補委	公益財団法人日本応用酵素協会
幹β細胞脱分化機構解明に基づく新規糖尿病治療法開発を目指す研究	椎木 幾久子	学術研究員	1,000,000	補委	公益社団法人日本糖尿病協会
ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に関する研究(STARR eGISTry) 試験	吉野 茂文	腫瘍センター	129,600	補委	公益財団法人先端医療振興財団

小計 20  
合計 218

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Cui D., Arima M., Takubo K., Kimura T., Horiuchi K., Minagawa T., Matsuda S., Ikeda E.	Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Ophthalmology, Kyushu University Graduate School of Medical Sciences, 3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka City, Fukuoka, Japan; Department of Stem Cell Biology, Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, 1-21-1 Toyama, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan; Departments of Cell Differentiation, Sakaguchi Laboratory of Developmental Biology, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan; Department of Surgery, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan; Department of Cell Signaling, Institute of Biomedical Sciences, Kansai Medical University, 10-15 Fumizono-cho, Moriguchi, Osaka, Japan	ADAM12 and ADAM17 are essential molecules for hypoxia-induced impairment of neural vascular barrier function	Scientific Reports,5,12796,2015
2	Ishii A., Kimura T., Sadahiro H., Kawano H., Takubo K., Suzuki M., Ikeda E.	Department of Pathology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Neurosurgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Basic Laboratory Sciences, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Research Institute, National Center for Global Health and Medicine, Shinjuku, Tokyo, Japan	Histological Characterization of the tumorigenic "peri-necrotic niche" harboring quiescent stem-like tumor cells in glioblastoma	PLoS ONE,11(1),e0147366,2016
3	Sakaida I., Nakajima K., Okita K., Hori M., Izumi T., Sakurai M., Shibasaki Y., Tachikawa S., Tsubouchi H., Oka H., Kobayashi H.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Medical Affairs, Otsuka Pharmaceutical Co. Ltd., Tokyo, Japan; Shunan Memorial Hospital, Kudamatsu, Yamaguchi, Japan; Osaka Medical Center for Cancer and Cardiovascular Diseases President Emeritus, Osaka, Japan; Kitasato University, Sagamihara, Kanagawa, Japan; Kojinkai Niigata Minami Hospital, Niigata, Japan	Can serum albumin level affect the pharmacological action of tolvaptan in patients with liver cirrhosis? A post hoc analysis of previous clinical trials in Japan	Journal of Gastroenterology,50(10),1047-1053,2015
4	Matsumoto T., Takami T., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Cell transplantation as a non-invasive strategy for treating liver fibrosis	Expert Review of Gastroenterology and Hepatology,10(5),639-648,2015
5	Yamamoto N., Yamasaki T., Takami T., Uchida K., Fujisawa K., Matsumoto T., Saeki I., Terai S., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami, Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Yamaguchi University, Health Administration Center, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami, Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Human Nutrition, Faculty of Nursing and Human Nutrition, Yamaguchi Prefectural University, 3-2-1 Sakurabatake, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Center of Research and Education for Regenerative Medicine, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami, Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuo-Ku, Niigata, Japan	Deferasirox, an oral iron chelator, prevents hepatocarcinogenesis and adverse effects of sorafenib	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition,58(3),202-209,2015
6	Takami T., Sakaida I., Terai S.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-Kogushi Ube, Yamaguchi, Japan	Liver regeneration therapy using autologous bone marrow-derived cells for cirrhotic patients	Gene Therapy and Cell Therapy Through the Liver: Current Aspects and Future Prospects,25-34,2015
7	Fujisawa K., Takami T., Kimoto Y., Matsumoto T., Yamamoto N., Terai S., Sakaida I.	Center for Regenerative Medicine, Yamaguchi University, School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuo-Ku, Niigata, Japan	Circadian variations in the liver metabolites of medaka ( <i>Oryzias latipes</i> )	Scientific Reports,6,20916,2016
8	Fujisawa K., Terai S., Matsumoto T., Takami T., Yamamoto N., Nishina H., Furutani-Seiki M., Sakaida I.	Center for Reparative Medicine, Yamaguchi University School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuo-Ku, Niigata, Japan; Department of Developmental and Regenerative Biology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, 1-5-45 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan; Department of Biology and Biochemistry, University of Bath, Bath, United Kingdom	Evidence for a role of the transcriptional regulator Maid in tumorigenesis and aging	PLoS ONE,10(6),e0129850,2015
9	Fujisawa K., Terai S., Takami T., Yamamoto N., Yamasaki T., Matsumoto T., Yamaguchi K., Owada Y., Nishina H., Noma T., Sakaida I.	Center for Regenerative Medicine, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Division of Gastroenterology and Hepatology, School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, 1-757 Asahimachidori, Chuo-Ku, Niigata, Japan; Department of Oncology, Laboratory Medicine, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Organ Anatomy, School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Developmental and Regenerative Biology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University, 1-5-45 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan; Department of Molecular Biology, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University School, Tokushima, Japan	Modulation of anti-cancer drug sensitivity through the regulation of mitochondrial activity by adenylate kinase 4	Journal of Experimental and Clinical Cancer Research,35(1),322,2016
10	Saeki I., Yamasaki T., Tanabe N., Iwamoto T., Matsumoto T., Urata Y., Hidaka I., Ishikawa T., Takami T., Yamamoto N., Uchida K., Terai S., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Oncology and Laboratory Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Internal Medicine, Nagato General Hospital, Nagato, Yamaguchi, Japan; Department of Human Nutrition, Yamaguchi Prefectural University Faculty of Nursing and Human Nutrition, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan; Division of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University, Niigata, Niigata, Japan	A new therapeutic assessment score for advanced hepatocellular carcinoma patients receiving hepatic arterial infusion chemotherapy	PLoS ONE,10(5),e0126649,2015

11	Kobayashi S., Susa T., Ishiguchi H., Myoren T., Murakami W., Kato T., Fukuda M., Hino A., Suetomi T., Ono M., Uchinoumi H., Tateishi H., Mochizuki M., Oda T., Okuda S., Doi M., Yamamoto T., Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	A low-dose $\beta$ 1-blocker in combination with milrinone improves intracellular Ca <sup>2+</sup> handling in failing cardiomyocytes by inhibition of milrinone-induced diastolic Ca <sup>2+</sup> leakage from the sarcoplasmic reticulum	PLoS ONE,10(1),e0114314,2015
12	Kobayashi S., Myoren T., Oda S., Inari M., Ishiguchi H., Murakami W., Fukuda M., Tanaka T., Okuda S., Nao T., Doi M., Yamada J., Okamura T., Hoshii Y., Suga K., Matsuzaki M., Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Radiology, St. Hill Hospital, Ube, Japan	Urinary 8-hydroxy-2' -deoxyguanosine as a novel biomarker of inflammatory activity in patients with cardiac sarcoidosis	International Journal of Cardiology,190(1),319-328,2015
13	Kubo M., Uchida K., Nakashima T., Oda S., Nakamura T., Hashimoto S., Watada T., Nakamura H., Araki J., Matsuzaki M., Yano M.	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Hagi Civil Hospital, Japan; Japan Community Health care Organization, Tokuyama central Hospital, Japan; Japan Community Health care Organization, Shimonoseki Medical center, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Watada-Naika Hospital, Japan; Department of Community Health and Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Sanju Medical Office, Japan; Saint Hill hospital, Japan	Protein-losing enteropathy with systemic lupus erythematosus effectively treated with octreotide and medium chain triglyceride diet: A case report	Japanese Journal of Clinical Immunology,38(5),421-425,2015
14	Okamura T., Fujimura T., Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Three-dimensional reconstruction of optical coherence tomography for	Journal of Cardiology Cases,13(5),137-138,2015
15	Yoshiga Y., Shimizu A., Ueyama T., Ono M., Fumimoto T., Ishiguchi H., Yano M.	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; The Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Successful cryoballoon pulmonary vein isolation in a patient with situs inversus and dextrocardia	Journal of Arrhythmia,,2015
16	Myoren T., Kobayashi S., Oda S., Nanno T., Ishiguchi H., Murakami W., Okuda S., Okada M., Takemura G., Suga K., Matsuzaki M., Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Ube, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Internal Medicine, Asahi University School of Dentistry, Mizuho, Japan; Department of Radiology, St Hill Hospital, Ube, Japan	An oxidative stress biomarker, urinary 8-hydroxy-2' -deoxyguanosine, predicts cardiovascular-related death after steroid therapy for patients with active cardiac sarcoidosis	International Journal of Cardiology,212,206-213,2015
17	Oda T., Okamura T., Miyazaki Y., Nakamura T., Mikamo A., Wada Y., Yamashita A., Takahashi M., Hayashida K., Hamano K., Yano M.	Department of Medicine and Clinical Science, Division of Cardiology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Cardiac Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Anesthesiology, School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Cardiology, School of Medicine, Keio University, Tokyo, Japan	1-Year Follow-Up of Contained Aortic Root Rupture After Transcatheter Aortic Valve Replacement	JACC: Cardiovascular Interventions, 8(9(3)),295-6,2016
18	Oda T., Yang Y., Uchinoumi H., Thomas D.D., Chen-Izu Y., Kato T., Yamamoto T., Yano M., Cornea R.L., Bers D.M.	Department of Pharmacology University of California, Davis, CA, United States; Department of Medicine and Clinical Science, Division of Cardiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry, Molecular Biology and Biophysics, University of Minnesota, Minneapolis, MN, United States	Oxidation of ryanodine receptor (RyR) and calmodulin enhance Ca release and pathologically alter RyR structure and calmodulin affinity	Journal of Molecular and Cellular Cardiology,85,240-248,2015
19	Oda T., Okamura T., Yamada J., Miyagi N., Uehara H., Nao T., Tateishi H., Maeda T., Nakamura T., Shiraishi K., Nakashima T., Nishimura S., Miura T., Matsuzaki M., Yano M.	Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Cardiology, Cardiovascular Center, Urasoe General Hospital, Urasoe, Okinawa, Japan	Comparison of neointimal coverage and extra-stent lumen between sirolimus and everolimus-eluting stent using optical coherence tomography	Heart and Vessels,31(4),449-456,2015
20	Matsuda S., Umemoto S., Yoshimura K., Itoh S., Murata T., Fukai T., Matsuzaki M.	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Center for Clinical Research, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Institute of Experimental Animals, Science Research Center, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Departments of Medicine (Section of Cardiology) and Pharmacology, Center for Cardiovascular Research, University of Illinois at Chicago, Chicago, IL, United States	Angiotensin II activates MOP-1 and induces cardiac hypertrophy and dysfunction via toll-like receptor 4	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis,22(8),833-844,2015
21	Umemoto S., Ogihara T., Matsuzaki M., Rakugi H., Ohashi Y., Saruta T.	Center for Clinical Research, Yamaguchi University Hospital, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi, Japan; Morinomiya University of Medical Sciences, Osaka, Japan; Department of Geriatric Medicine and Nephrology, Osaka University Graduate, School of Medicine, Osaka, Japan; Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Department of Integrated Science and Engineering for Sustainable Society, Faculty of Science and Engineering, Chuo University, Tokyo, Japan; Keio University, Tokyo, Japan	Effects of calcium channel blocker-based combinations on intra-individual blood pressure variability: Post hoc analysis of the COPE trial	Hypertension Research,39(1),46-53,2016
22	Umemoto S.	Center for Clinical Research, Yamaguchi University Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan	Safety and clinical outcome in combination therapy for high-risk elderly hypertensive patients	Hypertension Research,38(2),104-105,2015
23	Takeshi Yamamoto, Masafumi Yano	Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Stiffness of Aorta is Inversely Related to the Myocardial Flow Reserve as Measured by NH3 Myocardial Perfusion PET in Patients With Hemodialysis	J Nucl Med,56(3),1524,2015
24	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Accumulating knowledge of the barrier system in the central and peripheral nervous system: What's next?	Clinical and Experimental Neuroimmunology,6(2), 109-110,2015
25	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Additional skin biopsy could widen the diagnostic window of vasculitic neuropathy	Clinical and Experimental Neuroimmunology,6(3), 218-219,2015
26	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Central nervous system has a lymphatic system: What's next?	Clinical and Experimental Neuroimmunology,6(4), 347-348,2015

27	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 7558505, Japan	Mesial temporal lobe epilepsy with hippocampal sclerosis as a neuroimmunological disorder	Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry, 87(7); 683, 2015
28	Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Neuropathology of natalizumab-associated progressive multifocal leukoencephalopathy	Brain and Nerve, 67(7); 891-901, 2015
29	Sano Y.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Congress report of the 2015 American Academy of Neurology annual meeting	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 6(3); 330-334, 2015
30	Sano Y., Nakano Y., Omoto M., Takao M., Ikeda E., Oga A., Nakamichi K., Saijo M., Maoka T., Sano H., Kawai M., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Neuropathology, Brain Bank for Aging Research, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Virology I, National Institute of Infectious Disease, Japan; Research Institute for Production Development, Japan	Rituximab-associated progressive multifocal leukoencephalopathy derived from non-hodgkin lymphoma: Neuropathological findings and results of mefloquine treatment	Internal Medicine, 54(8); 965-970, 2015
31	Koga M., Takahashi M., Yokoyama K., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Microbiology, Tokyo Metropolitan Institute of Public Health, Tokyo, Japan	Ambiguous value of anti-ganglioside IgM autoantibodies in Guillain-Barré syndrome and its variants	Journal of Neurology, 262(8); 1954-1960, 2015
32	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minami-kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan	Antecedent infections in guillain-barré syndrome: Knowledge in clinical practice	Brain and Nerve, 67(7); 871-880, 2015
33	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Clinical phenotypes in Guillain-Barré syndrome	Brain and Nerve, 67(11); 1313-1320, 2015
34	Koga M., Gilbert M., Li J., Yuki N.	Department of Neurology, Dokkyo Medical University, Tochigi, Japan; Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; National Research Council Canada, Human Health Therapeutics, Ottawa, ON, Canada; Departments of Medicine and Physiology, National University of Singapore, Singapore	Complex of GM1- and GD1a-Likelipo-Oligosaccharide mimics GM1b, inducing anti-GM1b antibodies	PLoS ONE, 10(4); e0124004, 2015
35	Koga M.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-Kogushi 1-1-1, Ube, Yamaguchi, Japan	Glycoarray: A savior in an arduous sea?	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 6(2); 114-115, 2015
36	Shimizu F., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Breakdown of blood-nerve barrier in immune-mediated neuropathy	Clinical and Experimental Neuroimmunology, 6(2); 139-148, 2015
37	Shimizu F., Nishihara H., Sano Y., Takeshita Y., Takahashi S., Maeda T., Takahashi T., Abe M., Koga M., Kanda T.	Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Neurology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Miyagi, Japan	Markedly increased IP-10 production by blood-brain barrier in neuromyelitis optica	PLoS ONE, 10(3); e0122000, 2015
38	Matsunaga K., Hirano T., Oka A., Ito K., Edakuni N.	Division of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Third Department of Internal Medicine, Wakayama Medical University, School of Medicine, Wakayama, Japan	Persistently high exhaled nitric oxide and loss of lung function in controlled asthma	Allergy International, 65; 266-271, 2016
39	Matsunaga K., Hirano T., Oka A., Tanaka A., Kanai K., Kikuchi T., Hayata A., Akamatsu H., Akamatsu K., Koh Y., Nakanishi M., Minakata Y., Yamamoto N.	Third Department of Internal Medicine, School of Medicine, Wakayama Medical University, Wakayama, Japan	Progression of Irreversible Airflow Limitation in Asthma: Correlation with Severe Exacerbations	J Allergy Clin Immunol Pract, 3(5); 759-764, 2015
40	Hirano T., Ito K., Edakuni N., Matsunaga K.	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan	Response to Systemic Corticosteroids on Persistently High Exhaled Nitric Oxide in Severe Asthma	J Allergy Ther, 6(4); 219-221, 2015
41	Uchida S., Shumyatsky G.P.	Department of Genetics, Rutgers University, 145 Bevier Rd., Piscataway, NJ, United States; Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Deceivingly dynamic: Learning-dependent changes in stathmin and microtubules	Neurobiology of Learning and Memory, 124; 52-61, 2015
42	Watanuki T., Matsuo K., Egashira K., Nakashima M., Harada K., Nakano M., Matsubara T., Takahashi K., Watanabe Y.	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Egashira Clinic, Kitakyushu, Fukuoka, Japan; Nagatoichinomiya Hospital, Shimonoseki, Yamaguchi, Japan; Katakura Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan; Health Administration Center, Yamaguchi University Organization for University Education, Yamaguchi, Yamaguchi, Japan	Precentral and inferior prefrontal hypoactivation during facial emotion recognition in patients with schizophrenia: A functional near-infrared spectroscopy study	Schizophrenia Research, 170(1); 109-114, 2016
43	Kimura S., Hasegawa S., Yanagihara M., Inoue H., Matsushige T., Tsuneoka H., Ichiyama T., Ohga S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Basic Laboratory Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Pediatrics, Tsudumigaura Medical Center for Children with Disabilities, Yamaguchi, Japan	Cat-scratch disease with severe pleuritis in a 6-year-old girl	Pediatrics International, 57(3); 501-503, 2015

44	Kibata T., Suzuki Y., Hasegawa S., Matsushige T., Kusuda T., Hoshida M., Takahashi K., Okada S., Wakiguchi H., Moriwake T., Uchida M., Ohbuchi N., Iwai T., Hasegawa M., Ichihara K., Yashiro M., Makino N., Nakamura Y., Ohga S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Division of Pediatrics, National Hospital Organization Iwakuni Clinical Center, Iwakuni, Japan; Division of Pediatrics, JCHO Tokuyama Central Hospital, Shunan, Japan; Division of Pediatrics, Yamaguchi Red Cross Hospital, Yamaguchi, Japan; Division of Pediatrics, Yamaguchi-ken Saiseikai Shimonoseki General Hospital, Shimonoseki, Japan; Division of Pediatrics, Yamaguchi Grand Medical Center, Hofu, Japan; Department of Laboratory Sciences, Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Public Health, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan	Coronary artery lesions and the increasing incidence of Kawasaki disease resistant to initial immunoglobulin	International Journal of Cardiology, 214, 209-215, 2015
45	Hasegawa S., Matsushige T., Kajimoto M., Inoue H., Momonaka H., Oka M., Ohga S., Ichiyama T., Naito T., Azuma N., Tsuru T., Ohba A., Sugiyama N., Matsuura H., Yamaue T., Furuhashi K., Yamashita S., Shiihara T., Ishikawa N., Torisu H., Suenobu S., Yamagata T., Kawawaki H., Fujii K., Fukuyama Y., Aiba H., Oka A., Kishi T., Kira R., Kimura S., Kubota M., Takanashi J., Takahashi Y., Takayanagi M., Tamai H., Natsume J., Hamano S., Hara T., Hirabayashi S., Maegaki Y., Matsuo M., Mizuguchi M., Minagawa K., Yoshikawa H.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Pediatrics, Tsudumigaura Handicapped Children's Hospital, Japan; Saiseikai Kawaguchi General Hospital, Japan; Matsudo City Hospital, Japan; Tokai University Hospital, Japan; Jusendo Hospital, Japan; Tokushima Municipal Hospital, Japan; Hamamatsu University Hospital, Japan; Kanagawa Children's Medical Center, Japan; Gunma Children's Medical Center, Japan; Hiroshima University Hospital, Japan; Kyushu University Hospital, Japan; Oita University Hospital, Japan; Jichi Medical University, Japan; Osaka City General Hospital, Japan; Chiba University Hospital, Japan	A nationwide survey of opsoclonus-myooclonus syndrome in Japanese children	Brain and Development, 37(7), 656-660, 2015
46	Kajimoto M., Koga M., Narumi H., Inoue H., Matsushige T., Ohga S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Successful control of radicular pain in a pediatric patient with Guillain-Barré syndrome	Brain and Development, 37(9), 897-900, 2015
47	Murakami J., Ueda K., Sano F., Hayashi M., Tanaka N., Hamano K.	Division of Chest Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Radiology, Department of Radiopathology and Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Prediction of postoperative dyspnea and chronic respiratory failure	Journal of Surgical Research, 195(1), 303-310, 2015
48	Ueda K., Murakami J., Sano F., Hayashi M., Suga K., Hamano K.	Division of Chest Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St Hill Hospital, Ube, Yamaguchi, Japan	Similar radiopathological features, but different postoperative recurrence rates, between Stage I lung cancers arising in emphysematous lungs and those arising in nonemphysematous lungs	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery, 47(5), 905-911, 2015
49	Suehiro K., Morikage N., Murakami M., Yamashita O., Harada T., Ueda K., Samura M., Tanaka Y., Nakamura K., Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Skin and Subcutaneous Tissue Strain in Legs with Lymphedema and Lipodermatosclerosis	Ultrasound in Medicine and Biology, 41(6), 1577-1583, 2015
50	Ueda K., Hayashi M., Tanaka N., Hoshii Y., Tanaka T., Hamano K.	Division of Chest Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Radiology, Department of Radiopathology and Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Surgical Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Thoracic Surgery, NHO Yamaguchi-Ube Medical Center, 685 Higashi-kiwa, Ube, Japan	Surgery for undiagnosed ground glass pulmonary nodules: Decision making using serial computed tomography	World Journal of Surgery, 39(6), 1452-1459, 2015
51	Suehiro K., Morikage N., Murakami M., Yamashita O., Harada T., Ueda K., Samura M., Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Japan	A study of increase in leg volume during complex physical therapy for leg lymphedema using subcutaneous tissue ultrasonography	Journal of Vascular Surgery: Venous and Lymphatic Disorders, 3(3), 295-302, 2015
52	Suehiro K., Morikage N., Murakami M., Yamashita O., Harada T., Ueda K., Samura M., Tanaka Y., Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Differentiation of high and low output lymphatic failure using qualitative lymphangioscintigraphy	Annals of Vascular Diseases, 8(2), 93-99, 2015
53	Ueda K., Murakami J., Sano F., Hayashi M., Kobayashi T., Kunihiro Y., Hamano K.	Division of Chest Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Radiology, Department of Radiopathology and Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Assessment of volume reduction effect after lung lobectomy for cancer	Journal of Surgical Research, 197(1), 176-182, 2015
54	Hosoyama T., Samura M., Kudo T., Nishimoto A., Ueno K., Murata T., Ohama T., Sato K., Mikamo A., Yoshimura K., Li T.-S., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Center for Regenerative Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Institute of Laboratory Animals, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Laboratory of Veterinary Pharmacology, Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan; Graduate School of Health and Welfare, Yamaguchi Prefectural University, Yamaguchi, Japan; Department of Stem Cell Biology, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan	Cardiosphere-derived cell sheet primed with hypoxia improves left ventricular function of chronically infarcted heart	American Journal of Translational Research, 7(12), 2738-2751, 2015
55	Murakami J., Ueda K., Sano F., Hayashi M., Nishimoto A., Hamano K.	Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan. Electronic address: kaueda@c-able.ne.jp; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Pulmonary emphysema and tumor microenvironment in primary lung cancer	The Journal of surgical research, 200(2), 690-697, 2016

56	Suehiro K., Morikage N., Murakami M., Yamashita O., Harada T., Ueda K., Samura M., Tanaka Y., Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Effect of three-size too large strong stocking on venous hemodynamics in normal subjects	Phlebology,31(2),133-140,2016
57	Shindo Y., Yoshimura K., Kuramasu A., Watanabe Y., Ito H., Kondo T., Oga A., Ito H., Yoshino S., Hazama S., Tamada K., Yagita H., Oka M.	Departments of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Departments of Molecular Pharmacology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Departments of Molecular Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Departments of Immunology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Division of Cancer Immunotherapy, Exploratory Oncology Research and Clinical Trial Center in Tsukiji, National Cancer Center, Chuo-ku, Tokyo, Japan; Department of Immunology, Juntendo University School of Medicine, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan	Combination immunotherapy with 4-1BB activation and PD-1 blockade enhances antitumor efficacy in a mouse model of subcutaneous tumor	Anticancer Research,35(1),129-136,2015
58	Tokumitsu Y., Yoshino S., Iida M., Yoshimura K., Ueno T., Hazama S., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Intraoperative dissemination during gastrectomy for gastric cancer associated with serosal invasion	Surgery Today,45(6),746-751,2015
59	Yamamoto S., Suga K., Maeda K., Maeda N., Yoshimura K., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Department of Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St. Hill Hospital, Yamaguchi, Japan	Breast sentinel lymph node navigation with three-dimensional computed tomography-lymphography: a 12-year study	Breast Cancer,23(3),456-462,2015
60	Sakamoto K., Tamesa T., Tokuhisa Y., Matsukuma S., Tokumitsu Y., Maeda Y., Takeda S., Ueno T., Yamamoto S., Yoshino S., Hazama S., Nagano H., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Perioperative Microbiologic Monitoring of Sputum on Postoperative Day One as a Predictor of Pneumonia After Hepatectomy	Journal of Gastrointestinal Surgery,19(9),1662-1667,2015
61	Sakamoto K., Tamesa T., Yukio T., Tokuhisa Y., Maeda Y., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Risk Factors and Managements of Bile Leakage after Hepatectomy	World Journal of Surgery,40(1),182-189,2016
62	Nakao M., Ueno T., Oga A., Kuramitsu Y., Nakatsu H., Oka M.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology (Department of Surgery II), Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Molecular Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry and Functional Proteomics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Proposal of intestinal tissue engineering combined with Bianchi's procedure	Journal of Pediatric Surgery,50(4),573-580,2015
63	Tokumitsu Y., Tamesa T., Matsukuma S., Hashimoto N., Maeda Y., Tokuhisa Y., Sakamoto K., Ueno T., Hazama S., Ogihara H., Fujita Y., Hamamoto Y., Oka M., Iizuka N.	Department of Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Biomolecular Engineering Applied Molecular Bioscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Yamaguchi University, Yamaguchi, Japan	An accurate prognostic staging system for hepatocellular carcinoma patients after curative hepatectomy	International Journal of Oncology,46(3),944-952,2015
64	Iizuka N., Hamamoto Y.	Department of Kampo Medicine, Yamaguchi University Hospital, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Computer Science and Systems Engineering, Faculty of Engineering, Yamaguchi University, 2-16-1 Tokiwadai, Ube, Yamaguchi, Japan	Constipation and herbal medicine	Frontiers in Pharmacology,6(MAR),73,2015
65	Taguchi T., Igarashi A., Watt S., Parsons B., Sadosky A., Nozawa K., Hayakawa K., Yoshiyama T., Ebata N., Fujii K.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Drug Policy and Management, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo, Tokyo, Japan; Pfizer Inc., New York, NY, United States; Pfizer Japan Inc., Tokyo, Japan	Effectiveness of pregabalin for the treatment of chronic low back pain with accompanying lower limb pain (Neuropathic component): A non-interventional study in Japan	Journal of Pain Research,8,487-497,2015
66	Suzuki H., Kanchiku T., Imajo Y., Yoshida Y., Nishida N., Gondo T., Yoshii S., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Surgical Pathology, Fujisawa City Hospital, Fujisawa, Japan; Department of Rehabilitation, Osaka Red Cross Hospital, Osaka, Japan	Artificial collagen-filament scaffold promotes axon regeneration and long tract reconstruction in a rat model of spinal cord transection	Medical Molecular Morphology,48(4),214-224,2015
67	Kanchiku T., Suzuki H., Imajo Y., Yoshida Y., Moriya A., Suetomi Y., Nishida N., Takahashi Y., Taguchi T.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Department of Orthopedic Surgery, Ube, Yamaguchi, Japan	The efficacy of neuromuscular electrical stimulation with alternating currents in the kilohertz frequency to stimulate gait rhythm in rats following spinal cord injury	BioMedical Engineering Online,14(1),98,2015
68	Imajo Y., Kanchiku T., Yoshida Y., Nishida N., Taguchi T.	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Large spinal intraosseous arteriovenous fistula: case report	Journal of neurosurgery, Spine,22(4),406-
69	Imagama T., Tokushige A., Sakka A., Seki K., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Postpartum pyogenic sacroiliitis with methicillin-resistant Staphylococcus aureus in a healthy adult: A case report and review of the literature	Taiwanese Journal of Obstetrics and Gynecology,54(3),303-305,2015
70	Nishida N., Kanchiku T., Kato J., Imajo Y., Yoshida Y., Kawano S., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: Biomechanical analysis of the influence of static and dynamic factors	Journal of Spinal Cord Medicine,38(5),593-598,2015
71	Nishida N., Kanchiku T., Ohgi J., Ichihara K., Chen X., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine Yamaguchi, Japan; Yamaguchi University Yamaguchi, Japan; Non-Profit Organization Corporation, Japan Orthopedic Biomechanics Institute Yamaguchi, Japan; Yamaguchi University Yamaguchi, Japan; Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine Yamaguchi, Japan	Mechanical properties of nerve roots and rami radicales isolated from fresh pig spinal cords	Neural Regeneration Research,10(11),1869-1873,2015
72	Imagama T., Tokushige A., Sakka A., Seki K., Taguchi T.	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Postpartum pyogenic sacroiliitis with methicillin-resistant Staphylococcus aureus in a healthy adult: A case report and review of the literature.	Taiwanese Journal of Obstetrics and Gynecology,54(3),303-305,2015

73	Yoshida Yuichiro, Kanchiku Tsukasa, Imajo Yasuaki, Suzuki Hidenori, Taguchi Toshiniko	Dept. of Orthop. Surg., Yamaguchi Univ,	Teriparatide may improve the back pain of the patients with delayed union of osteoprotic vertebral fracture	日本整形外科学会雑誌,90(2),S142,2016
74	Nakamura Y., Nakamura A., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	A case of pleomorphic fibroma of the skin presenting as intradermal nodule	American Journal of Dermatopathology,37(2),175-176,2015
75	Nakamura Y., Kurata Y., Matsumoto K., Nakamura A., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine Ube, Japan	Ulcerated erythematous plaque on the right breast localized to the previously irradiated area	Dermatology Online Journal,21(5),2015
76	Nakamura Y., Kashiwagi K., Nakamura A., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Verrucous carcinoma of the foot diagnosed using p53 and Ki-67 immunostaining in a patient with diabetic neuropathy	American Journal of Dermatopathology,37(3),257-259,2015
77	Kurata Y., Yamada T., Hiroshige M., Kubo M., Yamaguchi M., Nakamura Y., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi Grand Medical Center, Japan; Department of Neurology, Yamaguchi Grand Medical Center, Japan; Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan; Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi Graduate University School of Medicine, Japan	A case of superior sagittal sinus thrombosis in a patient with systemic lupus erythematosus	Nishinohon Journal of Dermatology,77(2),119-123,2015
78	Matsuyama H.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Centrosome amplification as biomarkers in bladder cancer using touch biopsy and bladder washing cytological specimens	Biomarkers in Disease: Methods, Discoveries and Applications: Biomarkers in Cancer,253-272,2015
79	Matsuyama H., Matsumoto H., Nagao K., Harada N., Hara T., Sakano S.	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Hygiene, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan	Running suture versus interrupted suture for vesicourethral anastomosis in retropubic radical prostatectomy: A randomized study	International Journal of Urology,22(3),271-277,2015
80	Isoyama N., Machowska A., Qureshi A.R., Yamamoto T., Anderstam B., Heimbürger O., Barany P., Stenvinkel P., Lindholm B.	Divisions of Renal Medicine and Baxter Novum, Karolinska Institutet, Stockholm, Sweden; Department of Urology, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Baxter Healthcare Corporation Europe, Division of Nephrology, Endocrinology and Vascular Medicine, Sendai, Japan; Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan	Elevated circulating s100a12 associates with vascular disease and worse clinical outcome in peritoneal dialysis patients	Peritoneal Dialysis International,36(3),269-276,2015
81	Isoyama N., Leurs P., Qureshi A.R., Bruchfeld A., Anderstam B., Heimbürger O., Barany P., Stenvinkel P., Lindholm B.	Divisions of Renal Medicine and Baxter Novum, Karolinska Institutet, Stockholm, Sweden; Department of Urology, Yamaguchi University, Ube, Yamaguchi, Japan; Admiraal de Ruyter Hospital, Goes, Netherlands	Plasma S100A12 and soluble receptor of advanced glycation end product levels and mortality in chronic kidney disease Stage 5 patients	Nephrology Dialysis Transplantation,30(1),84-91,2015
82	Shiraishi K.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Hormonal therapy for non-obstructive azoospermia: basic and clinical perspectives	Reproductive Medicine and Biology,14(2),65-72,2015
83	Shiraishi K., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Laparoscopic diagnosis and orchiopexy for impalpable testis	Nishinohon Journal of Urology,78(4),165-171,2015
84	Shiraishi K., Oka S., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Male infertility practice within the department of urology belonging to Yamaguchi University	Nishinohon Journal of Urology,77(6),188-194,2015
85	Shiraishi K., Ishikawa T., Watanabe N., Iwamoto T., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Reproduction Clinic Osaka, Osaka, Japan; Reproduction Center, Akasaka Sanno Hospital, Tokyo, Japan; Center for Infertility and IVF, International University of Health and Welfare Hospital, Nasushiobara, Japan	Salvage hormonal therapy after failed microdissection testicular sperm extraction: A multi-institutional prospective study	International Journal of Urology,23(6),496-500,2015
86	Shiraishi K., Oka S., Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Surgical comparison of subinguinal and high inguinal microsurgical varicocelectomy for adolescent varicocele	International Journal of Urology,23(4),338-342,2015
87	Yamamoto Y., Liorit Y., Beraldi E., Zhang F., Wyatt A.W., Nakouzi N.A., Mo F., Zhou T., Kim Y., Monia B.P., MacLeod A.R., Fazli L., Wang Y., Collins C.C., Zoubeidi A., Gleave M.	Vancouver Prostate Centre and Department of Urologic Sciences, University of British Columbia, 2660 Oak Street, Vancouver, BC, Canada; Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Antisense Drug Discovery, Isis Pharmaceuticals Inc., Carlsbad, CA, United States	Generation 2.5 antisense oligonucleotides targeting the androgen receptor and its splice variants suppress enzalutamide-resistant prostate cancer cell growth	Clinical Cancer Research,21(7),1675-1687,2015
88	Yamamoto Y., Lin P.J.C., Beraldi E., Zhang F., Kawai Y., Leong J., Katsumi H., Fazli L., Fraser R., Cullis P.R., Gleave M.E.	Vancouver Prostate Centre, Department of Urologic Sciences, University of British Columbia, 2660 Oak Street, Vancouver, BC, Canada; Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Department of Biochemistry and Molecular Biology, University of British Columbia, Vancouver, BC, Canada	siRNA lipid nanoparticle potentially silences clusterin and delays progression when combined with androgen receptor cotargeting in enzalutamide-resistant prostate cancer	Clinical Cancer Research,21(21),4845-4855,2015
89	Yanai R, Nishida T, Chikama TI, Morishige N, Yamada N, Sonoda KH.	Department of Ophthalmology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi, Japan; Department of Ophthalmology, Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan	Potential new modes of treatment of neurotrophic keratopathy	Cornea,34,S121-S127,2015
90	Suzuki K, Teranishi S, Sagara T, Yoshino H, Nakayama M, Enoki M, Nuno Y, Hirano S, Wakuta M, Takahashi N, Tokuhisa K, Kondo Y, Shiraishi R, Ishida Y, Sonoda KH.	Department of Ophthalmology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Ube Industries Ltd, Central Hospital, Ube, Japan; Sagara Eye Clinic, Hagi, Japan; Tokuyama Central Hospital, Shunan, Japan; Saiseikai Shimonoseki General Hospital, Shimonoseki, Japan; Shimonoseki Kousei Hospital, Shimonoseki, Japan; Toyota Central Hospital, Shimonoseki, Japan; Ogori Daiichi General Hospital, Yamaguchi, Japan; Yamaguchi Grand Medical Center, Hofu, Yamaguchi, Japan	Safety and Efficacy of Benzalkonium Chloride-optimized Tafluprost in Japanese Glaucoma Patients with Existing Superficial Punctate Keratitis	Journal of Glaucoma,24(6),e145-e150,2015
91	Kimura K, Orita T, Liu Y, Yang Y, Tokuda K, Kurakazu T, Noda T, Yanai R, Morishige N, Takeda A, Ishibashi T, Sonoda KH.	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube City, Yamaguchi, Japan; Department of Ophthalmology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, 3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka, Japan	Attenuation of EMT in RPE cells and subretinal fibrosis by an RAR-γ agonist	Journal of Molecular Medicine,93(7),749-758,2015
92	Kimura K, Zhou H, Orita T, Kobayashi S, Wada T, Nakamura Y, Nishida T, Sohoda KH.	Department of Ophthalmology Yamaguchi University, Graduate School of Medicine Yamaguchi.; Senju Pharmaceutical Co. Osaka Japan	Inhibition by all-trans retinoic acid of collagen degradation mediated by corneal fibroblasts	Clinical and Experimental Ophthalmology, in press,2016

93	Tokuda K, Kuramitsu Y, Byron B, Kitagawa T, Tokuda N, Kobayashi D, Nagayama M, Araki N, Sonoda KH, Nakamura K.	Department of Ophthalmology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Biochemistry and Functional Proteomics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Faculty of Health Sciences, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Tumor Genetics and Biology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University Kumamoto, Japan	Up-regulation of DRP-3 long isoform during the induction of neural progenitor cells by glutamate treatment in the ex vivo rat retina	Biochemical and Biophysical Research Communications,463(4),593-599,2015
94	Hara H, Hirose Y., Yamashita H.	Department of Otolaryngology, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Thyroid gland rupture caused by blunt trauma to the neck	BMC Research Notes,9(1),1932,2016
95	Shigemoto Y., Suga K., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St. Hill Hospital, 3-7-18 Imamurakita, Ube, Yamaguchi, Japan	F-18-FDG-avid lymph node metastasis along preferential lymphatic drainage pathways from the tumor-bearing lung lobe on F-18-FDG PET/CT in patients with non-small-cell lung cancer	Annals of Nuclear Medicine,30(4),287-297,2016
96	Okada M.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Author's reply	Journal of Cardiology,66(6),539-540,2015
97	Okada M., Nakashima Y., Nomura T., Miura T., Nao T., Yoshimura M., Sano Y., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi Grand Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Cardiology, Tokuyama Central Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Cardiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan	Coronary vasodilation by the use of sublingual nitroglycerin using 64-slice dual-source coronary computed tomography angiography	Journal of Cardiology,65(3),230-236,2015
98	Okada M., Masuda Y., Nakashima Y., Nomura T., Nakao S., Suga K., Kido S., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Medicine, Yamaguchi University, Faculty of Medicine and Health Sciences, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, Yamaguchi Grand Medical Center, Oosaki 77, Hofu, Yamaguchi, Japan; Department of Radiology, St Hills Hospital, Imamurakita 3-7-18, Ube, Yamaguchi, Japan; Computer-aided Diagnosis and Biomedical Imaging Research Biomedical Engineering, Applied Medical Engineering Science Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Tokiwadai 2-16-1, Ube, Yamaguchi, Japan	Factors affecting the lung perfused blood volume in patients with intrapulmonary clots after anti-coagulation therapy	European Journal of Radiology,84(8),1614-1620,2015
99	Okada M., Kato M., Uchida K., Sufu Y., Okuda S., Yano M., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Cardiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Transcatheter and percutaneous procedures for huge pelvic arteriovenous malformations causing high-output heart failure	Journal of Cardiology Cases,12(5),162-165,2015
100	Kunihiro Y., Tanaka N., Matsumoto T., Yamamoto N., Matsunaga N.	Department of Radiology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Clinical Research, National Hospital Organization, Yamaguchi Ube Medical Center, Yamaguchi, Japan; Yamaguchi University Hospital, Division of Laboratory, Yamaguchi, Japan	The usefulness of a diagnostic method combining high-resolution CT findings and serum markers for cytomegalovirus pneumonia and pneumocystis pneumonia in non-AIDS patients	Acta Radiologica,56(7),806-813,2015
101	Shibuya K., Shiinoki T., Nakamura A.	Department of Therapeutic Radiology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Radiation Oncology and Image-applied Therapy, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan	Pancreatic cancer	Intensity-Modulated Radiation Therapy: Clinical Evidence and Techniques,315-336,2015
102	Maekawa R., Lee L., Okada M., Asada H., Shinagawa M., Tamura I., Sato S., Tamura H., Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Japan	Changes in gene expression of histone modification enzymes in rat granulosa cells undergoing luteinization during ovulation	Journal of Ovarian Research,9(1),15,2016
103	Maekawa R., Sato S., Okada M., Lee L., Tamura I., Jozaki K., Kajimura T., Asada H., Yamagata Y., Tamura H., Yamamoto S., Sugino N.	Departments of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Digestive Surgery and Surgical Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Tissue-specific expression of estrogen receptor 1 is regulated by DNA methylation in a T-DMR	Molecular Endocrinology,30(3),335-347,2016
104	Yamagata Y., Takaki E., Shinagawa M., Okada M., Jozaki K., Lee L., Sato S., Maekawa R., Taketani T., Asada H., Tamura H., Nakai A., Sugino N.	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Japan; Department of Biochemistry and Molecular Biology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Japan	Retinoic acid has the potential to suppress endometriosis development	Journal of Ovarian Research,8(1),49,2015
105	Yakabe K, Murakami A, Nishimoto Y, Kajimura T, Sueoka K, Sugino N	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Japan; Department of Biochemistry and Molecular Biology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minamikogushi 1-1-1, Ube, Japan	Clinical implications of human leukocyte antigen class I expression in endometrial cancer.	Mol Clin Oncol ,3(6),1285-1290,2015
106	Utada K, Ishida K., Tohyama S., Urushima Y., Mizukami Y., Yamashita A., Uchida M., Matsumoto M.	Department of Anesthesiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	The combination of insulin-like growth factor 1 and erythropoietin protects against ischemic spinal cord injury in rabbits	Journal of Anesthesia,29(5),741-748,2015
107	Nomura S., Kunitzugu I., Ishihara H., Koizumi H., Yoneda H., Shirao S., Oka F., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Yamaguchi Neurosurgical Association, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Public Health, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Relationship between Aging and Enlargement of Intracranial Aneurysms	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,24(9),2049-2053,2015
108	Sadaihiro H., Inamura A., Sugimoto K., Yamane A., Ishihara H., Shirao S., Yoneda H., Suzuki M.	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Cranioplasty and Duraplasty with Transcranial Color-Coded Duplex Sonography after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,24(11),2640-2645,2015
109	Sadaihiro H., Nomura S., Goto H., Sugimoto K., Inamura A., Fujiyama Y., Yamane A., Oku T., Shinoyama M., Suzuki M.	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Real-time ultrasound-guided endoscopic surgery for putaminal hemorrhage	Journal of Neurosurgery,123(5),1151-1155,2015

110	Shirao S., Yoneda H., Shinoyama M., Sugimoto K., Koizumi H., Ishihara H., Oka F., Sadahiro H., Nomura S., Fujii M., Tamechika M., Kagawa Y., Owada Y., Suzuki M.	Department of Neurosurgery and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Organ Anatomy, Yamaguchi University, School of Medicine, Ube, Japan	A novel trigger for cholesterol-dependent smooth muscle contraction mediated by the sphingosylphosphorylcholine-Rho-kinase pathway in the rat basilar artery: a mechanistic role for lipid rafts	Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism,35(5),835-842,2015
111	Ideguchi M., Kajiwara K., Goto H., Sugimoto K., Nomura S., Ikeda E., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan; Department of Neurosurgery, Ube-nishi Rehabilitation Hospital, Ube, Japan; Department of Pathology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	MRI findings and pathological features in early-stage glioblastoma	Journal of Neuro-Oncology,123(2),289-297,2015
112	Suehiro E., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University, School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Neurosurgical technique and approach	Neuroanesthesia and Cerebrospinal Protection,249-254,2015
113	Maruta Y., Fujii M., Imoto H., Nomura S., Tanaka N., Inamura A., Sadahiro H., Oka F., Goto H., Shirao S., Ideguchi M., Yoneda H., Suehiro E., Koizumi H., Ishihara H., Suzuki M.	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Strategies and Pitfalls of Motor-Evoked Potential Monitoring during Supratentorial Aneurysm Surgery	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,25(2),484-495,2016
114	Harada K., Ferdous T., Horinaga D., Uchida K., Mano T., Mishima K., Park S.C., Hanazawa H., Takahashi S., Okita A., Fukunaga M., Maruta J., Kami N., Shibuya K., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Japan; Department of Radiation Oncology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Japan; Department of Nursing, Yamaguchi University Hospital, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Japan	Efficacy of elemental diet on prevention for chemoradiotherapy-induced oral mucositis in patients with oral squamous cell carcinoma	Supportive Care in Cancer,24(2),953-959,2016
115	Harada K., Harada T., Ferdous T., Takenawa T., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Osteogenic cell fractions isolated from mouse tongue muscle	Molecular Medicine Reports,12(1),31-36,2015
116	Mishima K., Ueyama Y.	Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Japan	Dental considerations for acromegaly: A review	Advances in Medicine and Biology,82,149-158,2015
117	Mishima K., Shiraishi M., Kawai Y., Harada K., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-kogushi 1-1-1, Ube City, Yamaguchi, Japan	Frenum-like oral synechiae of the lip and vestibule	Oral and Maxillofacial Surgery,20(2),219-222,2016
118	Mishima K., Nakano A., Umeda H., Shiraishi R., Ueyama Y.	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Minami-kogushi 1-1-1, Ube City, Yamaguchi, Japan	Gender differences in posed smiles using principal component analysis	Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery,43(1),144-148,2015
119	Urata Y., Yamasaki T., Saeki I., Iwai S., Kitahara M., Sawai Y., Tanaka K., Aoki T., Iwadou S., Fujita N., Nakayama Y., Maeshiro T., Takami T., Sakaida I.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Gastroenterology, Yamaguchi Rosai Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Oncology and Laboratory, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Hepatology, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan; Department of Gastroenterology, Ikeda Municipal Hospital, Osaka, Japan; Department of Gastroenterology, Graduate School of Medicine, Kanazawa University, Kanazawa, Japan; Center for Gastroenterology, Teine Keijinkai Hospital, Sapporo, Japan; Division of Hepatobiliary and Pancreatic Disease, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan; Ultrasound Imaging Center, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan; Department of Internal Medicine, Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital, Hiroshima, Japan; Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University School of Medicine, Mie, Japan; First Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan; First Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, Okinawa, Japan	Clinical characteristics and prognosis of non-B non-C hepatocellular carcinoma patients with modest alcohol consumption	Hepatology Research,46(5),434-442,2016
120	Oie S., Furukawa H., Kobayashi H., Okubo T.	Department of Pharmacy, Yamaguchi University Hospital, Yamaguchi, Japan; Division of Infection Prevention and Control, Tokyo Healthcare University Postgraduate School, Tokyo, Japan	Cleanliness of linen and clothing items professionally laundered or dry-cleaned	Japanese Journal of Infectious Diseases,69(1),75-76,2016

小計 11

合計 120

(注)

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。



(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	仁志 麻衣子, 石川 剛, 相部 祐希, 白柴 祥吾, 松田 崇史, 岩本 拓也, 高見 太郎, 寺井 崇二, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学	特発性血小板減少性紫斑病を合併した原発性胆汁性肝硬変 自己免疫性肝炎オーバーラップ症候群に部分的脾動脈塞栓術を施行した1例	日本門脈圧亢進症学会雑誌, 21巻2号, 122-127, 2015
2	小川 亮, 戒能 聖治, 篠田 崇平, 川野 道隆, 播磨 博文, 末永 成之, 石川 剛, 戒能 美雪, 黒川 典枝, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学分野(内科学第一), 独立行政法人労働者健康福祉機構山口労災病院消化器内科1)	薬学的治療により救命し得た重症急性膵炎の一例	山口医学 64巻2号, 109-114, 2015
3	佐々木 楓, 松田 崇史, 相部 祐希, 中島 崇雄, 白柴 祥吾, 岩本 拓也, 石川 剛, 寺井 崇二, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学(内科学第一)	当院で経験した十二指腸静脈瘤破裂の4症例	山口医学 64巻2号, 145-152, 2015
4	久保 誠, 内田 耕資, 中島 忠亮, 小田 聖子, 中邑 友美, 橋本 真一, 綿田 敏子, 中村 浩士, 荒木 潤, 松崎 益徳, 矢野 雅文	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座, 萩市民病院, 独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院, 独立行政法人地域医療機能推進機構下関医療センター, 山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学講座, 綿田内科病院, 山口大学医学部地域医療推進講座, 千住診療所, 医療法人聖比留会 セントヒル病院	蛋白漏出性胃腸症を合併し、オクトレオチドおよび中鎖脂肪酸食が蛋白漏出性胃腸症に著効した全身性エリテマトーデスの1症例	日本臨床免疫学会誌, 39巻5号, 421-425, 2015
5	藤澤 浩一, 坂井田 功	山口大学大学院医学系研究科再生医療教育研究センター, 山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学	肝臓における老化の進行を遅らせることはできるか?	アンチエイジング医学, 11(6), 839-844, 2015
6	西村達朗, 高見太郎, 坂井田 功	山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学	自己骨髄細胞を用いた肝硬変症に対する肝臓再生療法の現状と展望	Medical practice, 32巻11号, 1888-1890, 2015
7	田邊 規和, 高見 太郎, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学	肝硬変に伴う腹水	消化器の臨床, 19巻1号, 5-9, 2016
8	岩本 拓也, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学(第一内科)	トルババタンを用いた腹水コントロール	医学のあゆみ, 255巻3号, 237-238, 2015
9	寺井 崇二, 高見 太郎, 坂井田 功	新潟大学 大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野, 山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学	臨床応用の現状 非代償性肝硬変症に対する再生療法	メディカル朝日, 44巻8号, 36-37, 2015
10	相部 祐希, 高見 太郎, 寺井 崇二, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学, 新潟大学 大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野	再生医療の臨床研究・治験 C型肝炎ウイルス起因肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法	日本臨床, 73巻増刊5 再生医療, 499-503, 2015
11	坂井田 功	山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学	新しい診断・薬の情報 腹水に対するバソプレシンV2受容体拮抗薬をどう用いるか	肝臓クリニカルアップデート, 1巻1号, 97-100, 2015
12	松田 崇史, 高見 太郎, 坂井田 功	山口大学 大学院医学系研究科消化器病態内科学	かゆみと疾患 肝疾患-内科から	臨床と研究, 92巻4号, 431-434, 2015
13	池上直慶, 白上巧作, 矢野雅文	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学	「出産後に急性発症を呈したネフローゼ症候群の一例」	山口医学, 64(2), 2015
14	吉村将之, 梅本誠治, 川野 倫徳, 三浦俊郎, 藤村達大, 山田倫生, 田中正和, 名尾 朋子, 弘本光幸, 矢野雅文	吉村医院, 山口大学医学部付属病院臨床研究センター, 山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学	「食後高中性脂肪血症はステント内再狭窄の危険因子である」	山口医学, 64(3), 2015
15	大野誠, 吉賀康裕, 上山剛, 文本朋子, 石口博智, 山本 健, 清水昭彦, 矢野雅文	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学; 山口大学大学院医学系研究科保健学系学域	「発作性心房細動に対する肺動脈隔離術により, 術後急性期に起立性低血圧や反射性失神を助長する可能性がある」	心電図, 36[Suppl2], 2015
16	松村卓郎, 谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学	抗インスリン抗体	medicina2015増刊号, Vol.52, No.4, 248-249, 2015
17	末富史佐, 谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学	抗GAD抗体	medicina2015増刊号, Vol.52, No.4, 250-252, 2015
18	末富史佐, 谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学	抗インスリン受容体抗体	medicina2015増刊号, Vol.52, No.4, 253-254, 2015
19	鈴木宗弘, 竹田孔明, 末廣 泰子, 谷澤幸生	徳山中央病院, 山口大学医学部附属病院第3内科, 山口県立総合医療センター, 大学院医学系研究科病態制御内科学	急性妊娠性脂肪肝に尿崩症を合併した1例	日本内科学会雑誌, Vol.104, No.11, 2407-2413, 2015
20	谷澤幸生, 松永仁恵	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学, 下関医療センター	ウォルフラム(Wolfram)症候群	難治性内分泌代謝疾患Update, 123-
21	竹田孔明, 谷澤幸生	山口大学医学部附属病院第3内科, 大学院医学系研究科病態制御内科学	DPP4阻害薬の大規模臨床研究成果	Annual Review 2016 糖尿病・代謝・内分泌, 50-55, 2016
22	宮崎睦子, 谷澤幸生	山口大学医学部附属病院第3内科, 大学院医学系研究科病態制御内科学	2型糖尿病	糖尿病 最新の治療, 2016-2018, 2016
23	太田康晴, 谷澤幸生	山口大学医学部分子代謝制御学, 大学院医学系研究科病態制御内科学	学会レポート第58回日本糖尿病学会年次学術集会	糖尿病の最新治療, vol.7, No.2, 104-106, 2016

24	松永和人	山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	新しい検査:呼吸一酸化窒素測定	呼吸器疾患診療の最先端,先端医療シリーズ46,175-178,2015
25	平野綱彦,一ノ瀬正和	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科,東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野	COPDの治療戦略~SABAの位置づけ~	呼吸器疾患のビットフォー,216-
26	平野綱彦,一ノ瀬正和	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科,東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野	声帯機能不全	呼吸器疾患のビットフォー,216-
27	平野綱彦,松永和人	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科,山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	呼吸中一酸化窒素,一酸化炭素の有用性と課題	アレルギー・免疫,22(10),30-39,2015
28	平野綱彦	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科	COPDへのSABAのアシストユース	PROGRESS IN MEDICINE,35,255-260,2015
29	松永和人	山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	喘息の疫学:特に高齢者喘息における現状と問題点	PROGRESS IN MEDICINE,35,1533-1539,2015
30	平野綱彦,松永和人	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科,山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	呼吸機能検査	アレルギーの臨床,12,35(13),27-30,2015
31	平野綱彦,松永和人	山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科,山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	難治性喘息におけるTNF-LIGHTの意義	アレルギーの臨床,12,35(14),42-43,2015
32	松原敏郎,芳原輝之,渡邊義文	総合病院山口赤十字病院神経科,山口大学医学部高次神経科学(神経精神医学)講座	術後せん妄の既往があるせん妄ハイリスク患者に対する術前からのラメルテオン投与の試み	精神医学,57(5),359-362,2015
33	樋口尚子,綿貫俊夫,井上宏治,石田和慶,松本美志也,渡邊義文	山口大学医学部附属病院精神科神経科,三隅病院,山口大学医学部附属病院麻酔科蘇生科	未破裂脳動脈瘤を合併したうつ病患者に対して嚴重な血圧管理下に電気けいれん療法(ECT)を施行した一例	精神科治療学,30(6),823-829,2015
34	岡一斉,釘宮成二,原田栄二郎,榎忠彦,濱野公一	山口大学医学部医学系研究科器官病態外科学	腹腔鏡補助下に切除した逆行転型腸回転異常症を伴う肺結腸転移の1例	日本消化器外科学会雑誌,48(4),382-390,2015
35	藤田陽,藏澄宏之,鈴木亮,高橋雅弥,白澤文吾,美甘章仁,濱野公一	山口大学第一外科	臨床経験 術中下半身灌流不全に対して弓部-下行大動脈バイパス術を追加したStanford A型慢性大動脈解離	胸部外科,68(6),435-438,2015
36	村上雅憲,森景則保,田中裕也,佐村誠,上田晃志郎,原田剛佑,山下修,末廣晃太郎,濱野公一	山口大学大学院器官病態外科学・血管外科	右側大動脈弓を伴ったKommerell嚢室に対するステントグラフト内挿術の1例	血管外科,34(1),74-77,2015
37	林雅太郎,佐野史歩,村上順一,上田和弘,濱野公一	山口大学大学院器官病態外科学講座呼吸器外科	完全胸腔鏡下に切除した縦隔内胸管嚢胞の1例	日本内視鏡外科学会雑誌,21(1),51-56,2016
38	吉峯宗大,村上順一,佐野史歩,林雅太郎,濱野公一	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学分野(外科学第一)	小細胞肺癌に発生した同一肺葉内病変が分類不能癌と診断された1例	山口医学,65(1),65-69,2016
39	井上由佳,裕彰一,恒富良一,武田茂,上野富雄,山本滋,吉野茂文,坂本純一,三嶋秀行,岡正朗,永野浩昭	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学	FcγR遺伝子多型によるセツキンマブ効果予測の検討	癌と化学療法,42巻10号,1310-1312,2015
40	中島正夫,裕彰一,鈴木伸明,井上由佳,吉野茂文,永野浩昭	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学	手術手技 下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術 リンパ節転移度に応じた自律神経温存と拡大郭清の手技とコツ(解説)	手術,70巻3号,309-315,2016
41	飯田通久,上野富雄,前田祥成,裕彰一,永野浩昭	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学	腹腔鏡下に修復した坐骨ヘルニアの1例(原著論文/症例報告)	日本ヘルニア学会誌,2巻1号,23-28,2015
42	裕彰一,岡正朗	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学	最新臨床大腸癌学—基礎研究から臨床応用へ—Ⅶ 大腸癌の検査・診断大腸癌の分子生物学的検査 UGT1A1遺伝子多型検査の意義と実際	日本臨床,73巻 増刊号4,374-378,2015
43	裕彰一,岡正朗	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学	最新臨床大腸癌学—基礎研究から臨床応用へ—Ⅶ 大腸癌の治療 遺伝子治療・免疫治療大腸癌の免疫治療—現状と展望—	日本臨床,73巻 増刊号5,574-578,2015
44	今釜崇,徳重厚典	山口大学大学院医学系研究科整形外科	人工股関節再置換術におけるS-ROMの有用性	Hip Joint,41,700-703,2015
45	今釜崇,徳重厚典,目昭仁,関万成,田口敏彦	山口大学大学院医学系研究科整形外科	大腿骨近位骨切り術後のTHAにおけるS-ROMの有用性と問題点	日本人工関節学会,45,777-778,2015
46	池田裕暁,寒竹司,今城靖明,鈴木秀典,吉田佑一郎,西田周泰,藤本和弘,田口敏彦	山口大学大学院医学系研究科整形外科	尺骨神経刺激の背髄誘発電位による障害高位診断	中国・四国整形外科学会雑誌,27(2),273-6,2015
47	橋本貴弘,村松慶一,富永康弘,山縣大樹,田口敏彦,重富充則	山口大学大学院医学系研究科整形外科	Synthes VA-TCPを用いた換骨遠位端骨折の治療経験	整形外科と災害外科,64(3),385-9,2015

48	山縣大樹、橋本貴弘、村松慶一、富永康弘、田口敏彦、重富充則	山口大学 大学院医学系研究科整形外科	慢性肩関節炎の治療経験	整形外科と災害外科,64(3),506-9,2015
49	鎌田敬子、関 万成、目 昭仁、田口敏彦	山口大学 大学院医学系研究科整形外科	高度外反変形を生じたCharcot踵関節に対してTKAを施行した1例	整形外科と災害外科,64(4),770-2,2015
50	関 万成、徳重厚典、目 昭仁、今釜 崇、田口敏彦	山口大学 大学院医学系研究科整形外科	関節リウマチ症例におけるmorning stiffness と関節エコーおよび疾患活動性との関連についての検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌,58(2),249-50,2015
51	関 万成、目 昭仁、徳重 厚典、今釜 崇、田口 敏彦	山口大学 大学院医学系研究科整形外科	外反膝に対するTKAの術後成績内側アプローチと外側アプローチの比較	日本人工関節学会,45,253-4,2015
52	寒竹 司、鈴木 秀典、今城 靖明、吉田 祐一郎、守屋 淳嗣、末富 裕、西田 周泰、高橋 洋平、田口 敏彦	山口大学 大学院医学系研究科整形外科	急性期ニューロリハビリテーションの確立を目指したラット脊髄損傷後の機能的神経筋刺激治療モデルの開発	関節外科,34(4),178-86,2015
53	中村有希子、中村好貴、吉本聖、武藤正彦	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学分野	草刈り機の刃の断片(タングステン)により偽リンパ腫様反応を示した1例。	皮膚病診療,38(2),181-184,2016
54	Nakamura A., Nakamura Y., Matsumoto K., Kurata Y., Muto M.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	An adult case of human parvovirus B19 infection mimicking rheumatoid arthritis with purpura on lower extremities and a high serum level of rheumatoid factor	Nishinohon Journal of Dermatology,77(2),134-137,2015
55	松山豪泰、執印太郎、白石晃司、原 綾英、杉本盛人、内田洋介	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学分野、高知大学泌尿器科、川崎医科大学泌尿器科、岡山大学泌尿器科、今村病院	西日本におけるアンドロロジー	西日本泌尿器科,77(6),187-211,2015
56	白石晃司、岡 真太郎、松山豪泰	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学分野	山口大学泌尿器科における男性不妊症診療の現状	西日本泌尿器科,77(6),188-194,2015
57	山城 知恵美、鈴木 克佳、小林 由佳、寺西 慎一郎、白石 理江、徳久 佳代子、園田 康平	山口大学大学院医学系研究科眼科学	未熟児網膜症と全身麻酔が関与した小児の急性閉塞隅角緑内障の1例	臨床眼科,69(12),1687-1691,2015
58	藤井博則、橋本 誠、菅原一真、池田卓生、下郡博明、山菅原一真、山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学 鼓ヶ浦こども医療福祉センター	video-oculographyの追跡眼球運動への応用	耳鼻咽喉科ニューロサイエンス,29,46-
59	菅原一真、山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	黄砂・PM2.5とアレルギー性鼻炎患者の症状	耳鼻咽喉科免疫アレルギー,33(3),201-
60	原 浩貴、堀 健志、津田潤子、山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	声帯横痃部病変に対するビデオラリソ下の喉頭微細手術	喉頭,27(2),75-80,2015
61	菅原一真、山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	【新しい治療・将来展望】Drug delivery system	JOHNS,32(1),94-96,2016
62	岡田 宗正、森景 則保、濱野公一、松永 尚文	山口大学 医学部放射線科; 山口大学 大学院医学研究科器官病態外科; 山口大学 大学院医学研究科放射線医学	【IVR治療戦略:術前に必要な画像診断はこれだ!】大動脈瘤ステントグラフト治療に必要な画像診断	臨床画像,31(5),607-617,2015
63	岡田 宗正、中島 好晃、松永尚文	山口大学医学部附属病院 放射線科; 山口県立総合医療センター 放射線科; 山口大学 大学院医学系研究科放射線医学	【Cardiac imaging 2015】心臓CTに必要な解剖知識	臨床画像,31(4月増刊),40-54,2015
64	岡田 宗正、野村 貴文、松永尚文、中島 好晃	山口大学 大学院医学研究科放射線医学分野、山口県立総合医療センター 放射線科	【知っておきたい循環器疾患のCT・MRI(2)-胸部・腹部・末梢血管疾患Case Review-】胸部 慢性肺血栓塞栓症	画像診断,35(9),1076-1077,2015
65	岡田 宗正、野村 貴文、松永尚文、中島 好晃	山口大学 大学院医学研究科放射線医学分野、山口県立総合医療センター 放射線科	【知っておきたい循環器疾患のCT・MRI(2)-胸部・腹部・末梢血管疾患Case Review-】胸部 急性肺血栓塞栓症	画像診断,35(9),1074-1075,2015
66	亀田 ふみ、重本 春子、古川又一、松永 尚文	山口大学 放射線科	今月の症例 猫ひっかき病(cat scratch disease)	臨床放射線,60(9),1197-
67	原田 祐子、松永 尚文、徳田修	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 独立行政法人国立病院機構 関門医療センター	【ステップアップのための骨軟部画像診断-Q&Aアプローチ-】(第5章)関節疾患 滑液包炎、滑膜嚢胞、ガングリオンの違いは何ですか?	画像診断,35(11),s136-s139,2015
68	国弘 佳枝、田中 伸幸、松本常男、小林 大河、松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野、済生会山口総合病院 放射線科; 山口宇部医療センター 放射線科	【主たる胸部CT所見による鑑別診断-カテゴリー別に整理する-】びまん性すりガラス影	臨床画像,31(9),1081-1081,2015
69	山砥 茂也、松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野	画像診断と病理 尿管管癌	画像診断,35(14),1596-
70	小野 達、岡田 宗正、野村 貴文、加藤 雅俊、松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野	【救急画像診断のすべて】内因性疾患 胸部 胸部血管障害 非外傷性心大血管疾患	臨床放射線,60(11),1629-1636,2015

71	松永 尚文, 林 宏光, 吉村 宣彦	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 日本医科大学 放射線医学教室; 新潟大学 医歯学総合病院放射線部	診療ガイドラインから見た画像診断 放射線科医の役割を考える 心血管領域	臨床画像,31(7),915-921,2015
72	神谷 正喜, 国弘 佳枝, 小林 大河, 松永 尚文, 上田 和弘, 田中 慎介, 田中 伸幸, 松本 常男	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 同器官病態外科; 同病理部; 山口県済生会山口総合病院 放射線科; 山口宇部医療センター 放射線科	画像診断と病理 浸潤性粘液産生性腺癌	画像診断,35(10),1184-1185,2015
73	清水 建策, 松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野	画像診断と病理 胃型分化型胃癌	画像診断,35(9),1040-1041,2015
74	大崎 正子, 原田 祐子, 松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野	画像診断と病理 筋肉内粘液腫	画像診断,35(12),1344-
75	大崎 正子, 松永 尚文, 福田 国彦	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 東京慈恵会医科大学 放射線医学講座	【ステップアップのための骨軟部画像診断-Q&Aアプローチ】(第5章)関節疾患 大腿骨寛骨臼インピンジメント(FAI)では、何を報告すればよいでしょうか?	画像診断,35(11),s131-s135,2015
76	大崎 正子, 松永 尚文, 福田 国彦	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 東京慈恵会医科大学 放射線医学講座	【ステップアップのための骨軟部画像診断-Q&Aアプローチ】(第3章)下肢の外傷・障害 一過性大腿骨頭萎縮症について教えてください	画像診断,35(11),s48-s51,2015
77	田辺 昌寛, 松永 尚文, 飯田 通久, 池田 栄二	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 同消化器腫瘍外科学; 同病理形態学	画像診断と病理 Solid-pseudopapillary neoplasm	画像診断,35(13),1470-1471,2015
78	飯田 悦史, 古川 又一, 松永 尚文	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野	画像診断と病理 耳下腺オンコサイトーマ	画像診断,35(8),898-899,2015
79	野村 貴文, 岡田 宗正, 松永 尚文, 中島 好晃	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 山口県立総合医療センター 放射線科	【知っておきたい循環器疾患のCT-MRI(2)-胸部・腹部・末梢血管疾患Case Review-】胸部 胸郭出口症候群	画像診断,35(9),1084-1085,2015
80	野村 貴文, 岡田 宗正, 松永 尚文, 中島 好晃	山口大学 大学院医学系研究科放射線医学分野; 山口県立総合医療センター 放射線科	【知っておきたい循環器疾患のCT-MRI(2)-胸部・腹部・末梢血管疾患Case Review-】胸部 ステントグラフト留置術	画像診断,35(9),1082-1083,2015
81	松永 尚文	山口大学大学院医学系研究科 放射線医学分野	【Cardiac imaging 2015】序説	臨床画像,31(4月増刊),5,2015
82	岡田 宗正, 松永 尚文	山口大学 医学部放射線科; 山口大学 大学院放射線医学	【Picked-up Knowledge from Foreign Journals】冠動脈CTの現況	画像診断,35(8),1012-1013,2015
83	岡田 宗正, 松永 尚文	山口大学 医学部放射線科; 山口大学 大学院放射線医学	【Picked-up Knowledge from Foreign Journals】冠動脈CTAを用いた冠血流予備量比(FFR)	画像診断,36(1),80-81,2016
84	野村 貴文, 岡田 宗正, 松永 尚文	山口大学放射線科	今月の症例 上腸間膜動脈瘤	臨床放射線,61(3),497-499,2016
85	田辺 昌寛	山口大学大学院医学系研究科放射線医学分野	【RSNA AWARD REPORT (Certificate of Merit) Adrenal mass imaging: a pictorial review (副腎腫瘍の画像所見)】	Rad Fan,14(2),86-87,2016
86	松本美志也, 石田和慶, 歌田浩二, 山下敦生, 福井健	山口大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	中枢神経保護	蘇生,34(2),65-70,2015
87	石田和慶, 中西俊之, 山下敦生, 内田雅人, 内山史子, 松本美志也	山口大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	脳代謝モニタリングの適応について 心臓大血管手術で脳障害・脳機能障害を防ぐために近赤外分光法による局所脳酸素飽和度モニタを役立てるには	日本臨床麻酔学会誌,35(5),632-642,2015
88	山下敦生, 石田和慶, 松本美志也	山口大学大学院医学系研究科 麻酔・蘇生・疼痛管理学	心臓血管外科手術後のせん妄 一危険因子と術中脳モニター	Anet,19(3),13-17,2015
89	石田和慶, 山下敦生, 山下理, 歌田浩二, 松本美志也	山口大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	術後せん妄	臨床麻酔,39(12),1645-1654,2015
90	石田和慶, 森岡智之, 油利俊輔, 山下敦生, 山下理, 松本美志也	山口大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生・疼痛管理学分野	脳障害を軽減するための心臓手術中のモニタリング 一経頭蓋ドブラを有効に活用するには	Neurosonology,28(3),156-158,2016
91	鈴木倫保, 米田 浩, 白尾敏之, 杉本至健, 井上貴雄, 丸田雄一, 山根亜希子, 小泉博晴, 末廣栄一, 貞廣浩和, 石原秀行	山口大学大学院医学系研究科 システム制御医学系学域 脳・神経病態制御講座 脳神経外科	片頭痛: 群盲像を撫でる? 鶴?	日本頭痛学会誌,42(1),1-8,2015
92	米田 浩, 鈴木倫保	山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科	aneurysm subarachnoid hemorrhage (sSAH)の頭痛を見落とさないために	日本頭痛学会誌,42(1),30-32,2015
93	末廣栄一, 小泉博晴, 井上貴雄, 藤山雄一, 徳山瑞也, 出口 誠, 米田 浩, 石原秀行, 野村 貞宏, 鈴木倫保	山口大学医学部脳神経外科	頭部外傷集中治療の実態	脳神経外科ジャーナル,25(3),214-219,2016

94	鈴木倫保	山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科	高齢者くも膜下出血の問題点-日本の現状と課題-	Geriatric Neurosurgery,28,43-48,2016
95	山崎 隆弘	山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学分野	肝細胞癌に対する内科治療の足跡～革新的治療法の開発	山口医学,第65巻 第1号,15-22,2016
96	末廣 寛、松本俊彦、山崎隆弘	山口大学大学院医学系研究科	腫瘍マーカーが高かったら	総合診療,Vol.25, no.8,748-751,2015
97	八木雄史、藤田基、水口市子、荻野泰明、大辻真理、古賀靖卓、小田泰崇、鶴田良介	山口大学医学部附属病院先進医療センター	体位変換により術前予測が困難であった陰嚢からの鉄筋糸創による横隔膜単独損傷の1例	日本外傷学会雑誌,30,18-22,2016
98	荻野泰明、藤田基、戸谷昌樹、宮内崇、金田浩太郎、小田泰崇、鶴田良介	山口大学医学部附属病院先進医療センター、山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野	S状結腸憩室穿通・後腹膜膿瘍が閉鎖管を経由して波及した大腸壊死性軟部組織感染症の1例	日本救急医学会雑誌,26,619-624,2015
99	八木雄史、小田泰崇、荻野泰明、中原貴志、藤田基、河村宜克、鶴田良介	山口大学医学部附属病院先進医療センター	経皮的ドレナージで治癒し得た食道破裂に伴う両側膿胸・細菌性心外膜炎・横隔膜周囲膿瘍の1救命例	日本救急医学会雑誌,27,44-50,2016

小計 6

合計 99

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 「臨床研究に関する倫理指針」に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 3 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 5 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針について、申請手続について、IRB審査について、人医学系研究にかかる利益相反について 等	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院における専門医研修プログラムについては、本院の各診療科(部)長の管理のもとに、本院が専門基幹研修施設となり、主に山口県内の各医療圏の中核病院を専門研修連携施設として、専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得可能となるように、体系的に研修プログラムを策定し、大学病院及び地域中核病院の医療現場において、数多くの症例を経験することによって、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力(知識及び技能)の育成を図っている。

また、本院においては、専門医研修を行いながら、山口大学大学院医学系研究科に進学し、学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成を推進している。

2 研修の実績

研修医の人数	136人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂井田 功	第一内科	科長	33年	
矢野 雅文	第二内科	科長	32年	
谷澤 幸生	第三内科	科長	32年	
神田 隆	神経内科	科長	34年	
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	25年	
渡邊 義文	精神科神経科	科長	40年	
長谷川 俊史	小児科	副科長	25年	
濱野 公一	第一外科	科長	30年	
永野 浩昭	第二外科	科長	30年	
田口 敏彦	整形外科	科長	35年	
一宮 誠	皮膚科	副科長	21年	
松山 豪泰	泌尿器科	科長	34年	
木村 和博	眼科	副科長	21年	
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	31年	
松永 尚文	放射線科	科長	38年	
澁谷 景子	放射線治療科	科長	24年	
杉野 法広	産科婦人科	科長	30年	
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	31年	
鈴木 倫保	脳神経外科	科長	36年	
上山 吉哉	歯科口腔外科	科長	32年	
山崎 隆弘	検査部	部長	29年	
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	25年	
池田 栄二	病理部	部長	30年	
黒川 典枝	総合診療部	部長	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【検査部】

- ・研修の主な内容：Liquid Biopsyの遺伝子検査への応用
- ・研修の期間・実施回数 5月20日
- ・研修の参加人数 37名

- ・研修の主な内容：高度先進医療（カプセル内視鏡）
- ・研修の期間・実施回数 7月1日
- ・研修の参加人数 28名

【放射線部】

- ・研修の主な内容：放射線部職員研修（第1回業務拡大対応、第2回デジタル化時代の医用画像）、放射線治療に関する研修
- ・研修の期間・実施回数 2回、放射線治療に関する研修 4回
- ・研修の参加人数 放射線部職員研修 のべ46名、放射線治療に関する研修 のべ35名

【看護部／対象：新人看護師】

- ・研修の主な内容：新採用者研修オリエンテーション
- ・研修の期間・実施回数 4月1日～3日、6日
- ・研修の参加人数 92名

- ・研修の主な内容：看護記録システム
- ・研修の期間・実施回数 4月7日～8日
- ・研修の参加人数 92名

- ・研修の主な内容：防火訓練
- ・研修の期間・実施回数 4月20日
- ・研修の参加人数 92名

- ・研修の主な内容：薬剤研修ステップ①
- ・研修の期間・実施回数 4月24日
- ・研修の参加人数 90名

- ・研修の主な内容：看護記録基礎編
- ・研修の期間・実施回数 5月8日
- ・研修の参加人数 125名

- ・研修の主な内容：医療安全に関する研修①
- ・研修の期間・実施回数 5月22日
- ・研修の参加人数 90名

- ・研修の主な内容：2か月目の振り返り
- ・研修の期間・実施回数 6月12日



- ・研修の参加人数 93名
- ・研修の主な内容：急変対応を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 6月23日、30日
- ・研修の参加人数 46名、44名
- ・研修の主な内容：輸血の取り扱い
- ・研修の期間・実施回数 7月8日
- ・研修の参加人数 94名
- ・研修の主な内容：薬剤研修ステップ②
- ・研修の期間・実施回数 7月15日
- ・研修の参加人数 94名
- ・研修の主な内容：6か月目の振り返り
- ・研修の期間・実施回数 9月11日
- ・研修の参加人数 90名
- ・研修の主な内容：医材センター研修
- ・研修の期間・実施回数 10月－11月
- ・研修の参加人数 93名
- ・研修の主な内容：看取りの看護
- ・研修の期間・実施回数 11月30日
- ・研修の参加人数 97名
- ・研修の主な内容：人工呼吸器の基礎知識
- ・研修の期間・実施回数 平成28年1月13日
- ・研修の参加人数 96名
- ・研修の主な内容：1年目の振り返り
- ・研修の期間・実施回数 平成28年3月2日
- ・研修の参加人数 74名
- ・研修の主な内容：技術演習① 感染対策、清潔操作
- ・研修の期間・実施回数 4月10日
- ・研修の参加人数 85名
- ・研修の主な内容：技術演習② 点滴準備
- ・研修の期間・実施回数 4月10日
- ・研修の参加人数 83名
- ・研修の主な内容：新人サポート研修 コミュニケーション I
- ・研修の期間・実施回数 4月10日
- ・研修の参加人数 83名
- ・研修の主な内容：技術演習③ 輸液ポンプ、シリンジポンプ
- ・研修の期間・実施回数 4月25日
- ・研修の参加人数 84名

- ・研修の主な内容：技術演習④ 体位変換
- ・研修の期間・実施回数 4月25日
- ・研修の参加人数 82名
  
- ・研修の主な内容：新人サポート研修 メンタルヘルス
- ・研修の期間・実施回数 4月25日
- ・研修の参加人数 82名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑤ 静脈血採血
- ・研修の期間・実施回数 5月9日
- ・研修の参加人数 80名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑥ 皮下注射、筋肉内注射
- ・研修の期間・実施回数 5月9日
- ・研修の参加人数 80名
  
- ・研修の主な内容：新人サポート研修 社会人基礎力
- ・研修の期間・実施回数 5月9日
- ・研修の参加人数 80名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑦ 吸引・吸入
- ・研修の期間・実施回数 5月23日
- ・研修の参加人数 83名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑧ 導尿
- ・研修の期間・実施回数 5月23日
- ・研修の参加人数 83名
  
- ・研修の主な内容：新人サポート研修 コミュニケーションⅡ
- ・研修の期間・実施回数 5月23日
- ・研修の参加人数 82名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑨ 経管栄養管理
- ・研修の期間・実施回数 6月6日
- ・研修の参加人数 83名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑩ フィジカルアセスメント
- ・研修の期間・実施回数 6月6日
- ・研修の参加人数 83名
  
- ・研修の主な内容：医療安全に関する研修② リスク感性を高めよう
- ・研修の期間・実施回数 6月6日
- ・研修の参加人数 83名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑫ 静脈留置針の挿入
- ・研修の期間・実施回数 7月29日
- ・研修の参加人数 79名
  
- ・研修の主な内容：技術演習⑬ 心電図モニター
- ・研修の期間・実施回数 10月14日

・研修の参加人数 89名

・研修の主な内容：フォローアップ研修  
・研修の期間・実施回数 8月26日、27日  
・研修の参加人数 72名

・研修の主な内容：技術演習⑩ 多重課題シミュレーションⅠ  
・研修の期間・実施回数 7月8日  
・研修の参加人数 83名

・研修の主な内容：技術演習⑭ 多重課題シミュレーションⅡ  
・研修の期間・実施回数 平成28年2月3日  
・研修の参加人数 79名

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

・研修の主な内容：2年目研修① フィジカルアセスメント  
・研修の期間・実施回数 7月1日、8月5日、9月2日  
・研修の参加人数 24名、23名、21名

・研修の主な内容：2年目研修②  
・研修の期間・実施回数 11月11日、11月27日  
・研修の参加人数 34名、33名

・研修の主な内容：2年目研修③  
・研修の期間・実施回数 平成28年2月1日、2月10日  
・研修の参加人数 32名、40名

・研修の主な内容：3年目研修①  
・研修の期間・実施回数 7月6日、7月27日  
・研修の参加人数 20名、25名

・研修の主な内容：3年目研修②  
・研修の期間・実施回数 10月21日、10月26日  
・研修の参加人数 23名、20名

・研修の主な内容：3年目研修③  
・研修の期間・実施回数 平成28年1月22日、1月29日  
・研修の参加人数 23名、21名

・研修の主な内容：プリセプター研修②  
・研修の期間・実施回数 5月20日  
・研修の参加人数 30名

・研修の主な内容：プリセプター研修③  
・研修の期間・実施回数 9月1日  
・研修の参加人数 28名

・研修の主な内容：プリセプター研修④  
・研修の期間・実施回数 平成28年2月17日  
・研修の参加人数 26名

- ・研修の主な内容：プリセプター研修①
- ・研修の期間・実施回数 平成28年3月16日
- ・研修の参加人数 124名
  
- ・研修の主な内容：看護研究を完成させる③
- ・研修の期間・実施回数 9月14日
- ・研修の参加人数 22名
  
- ・研修の主な内容：看護研究を完成させる①
- ・研修の期間・実施回数 11月18日
- ・研修の参加人数 26名
  
- ・研修の主な内容：看護研究を完成させる②
- ・研修の期間・実施回数 平成28年1月6日
- ・研修の参加人数 44名
  
- ・研修の主な内容：リーダーシップ I
- ・研修の期間・実施回数 6月17日
- ・研修の参加人数 22名
  
- ・研修の主な内容：クリティカルケア院内研修
- ・研修の期間・実施回数 平成28年1月～3月のうち 連続5日間
- ・研修の参加人数 15名

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

- ・研修の主な内容：リーダーシップⅡ
- ・研修の期間・実施回数 7月10日
- ・研修の参加人数 25名
  
- ・研修の主な内容：看護研究を支援するスキルを養う
- ・研修の期間・実施回数 10月30日
- ・研修の参加人数 18名
  
- ・研修の主な内容：看護記録発展編
- ・研修の期間・実施回数 11月4日
- ・研修の参加人数 98名
  
- ・研修の主な内容：チーム医療と組織での役割
- ・研修の期間・実施回数 平成28年2月26日
- ・研修の参加人数 18名

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

- ・研修の主な内容：院内看護管理入門研修
- ・研修の期間・実施回数 4月22日、5月27日、6月24日、7月22日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月16日、平成28年1月27日（全10回 うち3回は公開講座）
- ・研修の参加人数 延べ206名

【看護部／対象：全看護師】

- ・研修の主な内容：院内看護研究発表会

- ・研修の期間・実施回数 平成28年1月23日
- ・研修の参加人数 243名

- ・研修の主な内容：院内ICLS研修

- ・研修の期間・実施回数 5月7日、6月2日、7月2日、8月4日、9月3日、10月6日、11月5日、12月1日、平成28年1月7日、平成28年2月2日、平成28年3月3日
- ・研修の参加人数 90名

- ・研修の主な内容：がん看護セミナー

- ・研修の期間・実施回数 平成28年1月8日
- ・研修の参加人数 114名

- ・研修の主な内容：宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会

- ・研修の期間・実施回数 6月25日
- ・研修の参加人数 61名

- ・研修の主な内容：報告会①②

- ・研修の期間・実施回数 ①9月18日、②平成28年2月5日
- ・研修の参加人数 ①109名、②148名

- ・研修の主な内容：病院領域における認知症の現状と課題

- ・研修の期間・実施回数 12月19日
- ・研修の参加人数 59名

- ・研修の主な内容：院内認定（がん看護）看護師によるがん看護公開学習会

- ・研修の期間・実施回数 7月28日、11月24日、平成28年2月23日
- ・研修の参加人数 39名、15名、23名

- ・研修の主な内容：アドバンストナースチームミニレクチャー①②③④⑤

- ・研修の期間・実施回数 ①5月29日、②7月24日、③9月25日、④11月27日、⑤平成28年1月23日
- ・研修の参加人数 ①57名、②78名、③63名、④106名、⑤196名

【看護部主催／対象：管理者】

- ・研修の主な内容：看護管理研修（看護師長）「労務管理について」

- ・研修の期間・実施回数 5月29日
- ・研修の参加人数 29名

- ・研修の主な内容：看護管理研修（看護師長）「ノンテクニカルスキルをデブリーフィングで学ぶ」

- ・研修の期間・実施回数 7月18日
- ・研修の参加人数 25名

- ・研修の主な内容：看護管理研修（副看護師長）「大学病院における副看護師長の責任」

- ・研修の期間・実施回数 6月27日
- ・研修の参加人数 48名

- ・研修の主な内容：昇任管理者研修オリエンテーション

- ・研修の期間・実施回数 平成28年3月23日
- ・研修の参加人数 1名

【看護部主催／その他】

- ・研修の主な内容：看護必要度研修①②③
- ・研修の期間・実施回数 ①8月31日、②10月23日、③12月22日
- ・研修の参加人数 ①152名、②175名、③163名

- ・研修の主な内容：看護必要度研修新人編
- ・研修の期間・実施回数 8月26日、27日
- ・研修の参加人数 89名

- ・研修の主な内容：学ぼう・褥瘡予防ケア（新人編）
- ・研修の期間・実施回数 6月5日
- ・研修の参加人数 89名

- ・研修の主な内容：褥瘡・褥瘡予防ケア
- ・研修の期間・実施回数 ①6月10日、②9月29日、③12月4日
- ・研修の参加人数 ①192名、②130名、③144名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【看護部／対象：看護補助者】

- ・研修の主な内容：医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解
- ・研修の期間・実施回数 4月15日
- ・研修の参加人数 80名

- ・研修の主な内容：看護補助業務における医療安全
- ・研修の期間・実施回数 5月13日
- ・研修の参加人数 72名

- ・研修の主な内容：看護補助業務における 感染防止対策①
- ・研修の期間・実施回数 6月3日
- ・研修の参加人数 80名

- ・研修の主な内容：看護補助業務における 感染防止対策①
- ・研修の期間・実施回数 6月3日
- ・研修の参加人数 80名

・研修の主な内容：医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務の理解、日常生活にかかわる業務

- ・研修の期間・実施回数 6月16日
- ・研修の参加人数 78名

- ・研修の主な内容：看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術①【おむつ交換】
- ・研修の期間・実施回数 7月3日
- ・研修の参加人数 47名

- ・研修の主な内容：働き続けられる職場づくり
- ・研修の期間・実施回数 9月15日
- ・研修の参加人数 82名

- ・研修の主な内容：看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術②【移送・移乗】
- ・研修の期間・実施回数 10月9日
- ・研修の参加人数 45名
  
- ・研修の主な内容：看護補助業務における感染防止対策②
- ・研修の期間・実施回数 11月13日
- ・研修の参加人数 60名
  
- ・研修の主な内容：一次救命処置
- ・研修の期間・実施回数 12月2日
- ・研修の参加人数 78名
  
- ・研修の主な内容：ふりかえり
- ・研修の期間・実施回数 平成28年3月9日
- ・研修の参加人数 76名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
  
- ・研修の期間・実施回数
  
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 田口 敏彦	
管理担当者氏名	総務課長 水津 賢治 医事課長 茅野 康弘	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	事項 規則第二十二條の第三項に掲げる	病院日誌	医学部総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	診療録センター 医療情報部
		看護記録	診療録センター 医療情報部
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部
		エックス線写真	各診療科 放射線部
		紹介状	診療録センター 医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の第三項に掲げる	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部
		従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営管理課
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項に掲げる	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部

紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。  
2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。



		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課
		監査委員会の設置状況	医学部総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医学部医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医学部総務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務部総務課
		職員研修の実施状況	医学部医事課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 田口 敏彦		
閲覧担当者氏名	総務課長 水津 賢治 医事課長 茅野 康弘		
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館 2階 相談室 外来診療棟 1階 患者相談室		
閲覧の手続の概要 ・ 閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・ 承認者 病院長 ・ 閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・ 返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて</li><li>・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療安全管理委員会」を設置するとともに、医療安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療安全推進部」を設置したことについて</li><li>・ 医薬品及び医療機器の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」及び「医療機器安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療安全推進部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて</li><li>・ 院内全死亡事例の報告並びに医療安全推進部及び医療安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて</li><li>・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療安全推進部及び医療安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネージャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて</li><li>・ 医療事故等発生時の対応に関することについて</li><li>・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年 2 回以上開催することについて</li><li>・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて</li><li>・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備したことについて</li><li>・ マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について</li></ul></li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</li><li>・ 開催状況：年 12 回 (毎月 1 回)</li><li>・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>1. 毎月 1 回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療事故防止のための安全管理の方策に関する事</li><li>(2) 医療事故発生時の対応に関する事</li><li>(3) インシデント報告に関する事 (原因究明、対応策、再発防止策の検討及び教育・指導)</li><li>(4) 院内死亡事例に関する事</li><li>(5) 教育・研修の企画・立案に関する事</li></ol></li><li>2. 医療安全推進部 (医療安全管理部門) と連携し、医療安全推進部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。</li><li>3. 本院のリスクマネジメントマニュアル、インフォームド・コンセントマニュアル等の作成や、見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る。</li><li>4. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。</li><li>5. 感染対策委員会等他の委員会と連携し、医療事故の防止のため安全管理に取り組む。</li></ol></li></ul>	

6. 医療安全管理部門に医療安全に係る専従者や適時その業務を遂行する者を配置し、委員会の構成委員とする。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2回

・ 研修の主な内容：

全職員対象：

年度	研修名（研修テーマ）等
27年度	「放射線とMRの安全利用」 「免疫抑制剤や抗がん剤使用によるHBV再活性化とその対策」 「医療メディエーション～認知フレームの違いを理解する～」院内講師 「医療事故調査制度の概要とその対応」 ～医療従事者として知っておくべきこと&やるべきこと～ 院外講師

新規（中途）採用医師：

年度	研修名（研修テーマ）等
27年度	「当院の医療安全体制とその実際」医師GRM

研修医：

年度	研修名（研修テーマ）等
27年度	「病院でのリスクマネジメント」看護師GRM 「今日から役立つ医療安全～リスクマネジメントとインフォームド・コンセント」医師GRM

看護師等：

年度	研修名（研修テーマ）等
27年度	<p>全新採用者：</p> <p>「病院でのリスクマネジメント」看護師GRM</p> <p>新人看護師：</p> <p>「与薬」院内講師 「リスクマネジメントマニュアルを知る」看護師GRM 「KYT（危険予知トレーニング）」看護師GRM 「輸血の取り扱い」専任RM（輸血認定看護師） 「麻薬・抗がん剤の取り扱い」院内講師</p> <p>看護助手クラーク：</p> <p>「看護補助業務における医療安全」看護師GRM</p> <p>全看護師：</p> <p>「ECGモニターアラーム対応」外部講師</p>

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有・無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(報告の分析・検討方法)

・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。

・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療安全管理委員会、医療安全推進部会議において審議され決定される。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療安全推進部にて検討される。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染対策に関する基本的考え方</li><li>(2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項</li><li>(3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>(5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>(7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li><li>(8) 感染対策の地域連携に関する基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染予防に関すること</li><li>(2) 感染予防対策実施の指導に関すること</li><li>(3) 感染予防の教育に関すること</li><li>(4) 職員の職業感染対策に関すること</li><li>(5) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること</li><li>(6) 感染制御部の管理及び運営に関すること</li><li>(7) その他感染対策に関すること</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得</li><li>(2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る</li><li>(3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと</li><li>(4) 職業感染対策について</li></ol> <p>平成 27 年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。</p> <p>①研修会 月日： 平成27年 4月21日 テーマ： 「当院における感染対策について」 講師： 院内講師 ビデオ講習：平成27年 5月15日 平成27年 5月20日 平成27年 5月21日</p> <p>②研修会 月日： 平成27年 9月24日 テーマ： 「周術期感染対策の最近の話題」 講師： 院外講師 ビデオ講習：平成27年10月 5日 平成27年10月 6日 平成27年10月 9日</p> <p>※2回とも100%で研修を終えている。</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - ・ 収集した各データや問題点をICT会で検討している。
  - ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。



(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無																																
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回																																
・ 研修の主な内容：																																	
<table border="1"><thead><tr><th>研修日</th><th>対象者</th><th>研修内容</th><th>講師</th></tr></thead><tbody><tr><td>27. 04. 02</td><td>医療職員新採用者、研修医</td><td>薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「感染防止のための消毒薬の使い方について」</td><td>薬剤部長 副薬剤部長 薬剤主査</td></tr><tr><td>27. 04. 21</td><td>全職員</td><td>感染対策研修会「抗菌薬投与方法・TDM」</td><td>感染制御部専任薬剤師</td></tr><tr><td>27. 04. 24</td><td>看護師</td><td>薬剤研修ステップ1「薬剤の管理 -リスクマネジメントの視点から-」</td><td>薬剤主査</td></tr><tr><td>27. 05. 26</td><td>新規採用医師</td><td>くすりによる事故を起こさないために</td><td>副薬剤部長</td></tr><tr><td>27. 07. 15</td><td>新人看護師</td><td>薬剤研修ステップ2「麻薬の取り扱いについて」</td><td>副薬剤部長</td></tr><tr><td>27. 08. 10</td><td>放射線科病棟看護師</td><td>当院採用の吸入薬の使い方について</td><td>病棟担当薬剤師</td></tr><tr><td>27. 10. 31</td><td>治験・臨床研究を行う医療従事者</td><td>CRCによる人医学系研究の支援について</td><td>薬剤主査</td></tr></tbody></table>		研修日	対象者	研修内容	講師	27. 04. 02	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「感染防止のための消毒薬の使い方について」	薬剤部長 副薬剤部長 薬剤主査	27. 04. 21	全職員	感染対策研修会「抗菌薬投与方法・TDM」	感染制御部専任薬剤師	27. 04. 24	看護師	薬剤研修ステップ1「薬剤の管理 -リスクマネジメントの視点から-」	薬剤主査	27. 05. 26	新規採用医師	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長	27. 07. 15	新人看護師	薬剤研修ステップ2「麻薬の取り扱いについて」	副薬剤部長	27. 08. 10	放射線科病棟看護師	当院採用の吸入薬の使い方について	病棟担当薬剤師	27. 10. 31	治験・臨床研究を行う医療従事者	CRCによる人医学系研究の支援について	薬剤主査
研修日	対象者	研修内容	講師																														
27. 04. 02	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「感染防止のための消毒薬の使い方について」	薬剤部長 副薬剤部長 薬剤主査																														
27. 04. 21	全職員	感染対策研修会「抗菌薬投与方法・TDM」	感染制御部専任薬剤師																														
27. 04. 24	看護師	薬剤研修ステップ1「薬剤の管理 -リスクマネジメントの視点から-」	薬剤主査																														
27. 05. 26	新規採用医師	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長																														
27. 07. 15	新人看護師	薬剤研修ステップ2「麻薬の取り扱いについて」	副薬剤部長																														
27. 08. 10	放射線科病棟看護師	当院採用の吸入薬の使い方について	病棟担当薬剤師																														
27. 10. 31	治験・臨床研究を行う医療従事者	CRCによる人医学系研究の支援について	薬剤主査																														
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																																	
・ 手順書の作成 ( 有・無 )																																	
・ 業務の主な内容：																																	
<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医薬品の適正な採用</li><li>(2) 医薬品の適正な管理</li><li>(3) 処方箋への記載・投与指示と調剤</li><li>(4) 患者への適正な投与と服薬に関する指導(薬剤管理指導)</li><li>(5) 医薬品の適正使用のための情報管理(安全性情報収集と提供)</li><li>(6) 他の医療提供施設との連携</li></ol>																																	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( 有・無 )																																	
・ その他の改善のための方策の主な内容：																																	
<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。</li><li>(2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。</li></ol>																																	

- (3) 特に、発売1年以内の新薬については、副作用のモニタリングを行う。
- (4) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
- (5) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
- (6) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
- (7) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
- (8) 未承認等の医薬品は「治験及び人を対象とする医学系研究等倫理審査委員会」の審査を受ける。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：人工呼吸器 (2) 除細動装置 (1) 補助循環装置 (2) 新しい機器 (2)</li></ul> <p>(4~9 月の間に実施)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li><li>保守点検の主な内容：人工呼吸器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 補助循環装置 診療用放射線装置</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li></ul> <p>(情報収集の方法)</p> <p>(1) 添付文書の保管</p> <ul style="list-style-type: none"><li>各保守点検実施責任者への添付文書、取扱説明書、修理報告書の保管の周知</li></ul> <p>(2) 安全情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"><li>厚生労働省やPMDAからの通達等</li><li>メーカーからの通知等</li><li>学会の指針等</li></ul> <p>(情報の周知方法)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「MEだより」の発行</li><li>「医療機器安全ニュース」メーリングリスト</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>その他の改善のための方策の主な内容：</li></ul>	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>「山口大学医学部附属病院医療事故防止規則」を一部改正し、医療安全管理責任者の配置及び本責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長をもって充てた。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 7 名 ) ・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>収集した医薬品情報を 3 分類 ( 最重要、重要、その他 ) し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、最重要、重要な項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定 ( 全職員又は関連職員 ) するなどし、薬剤部 DI センターで関連書類を管理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>「治験及び人を対象とする医学系研究等倫理審査委員会」の審査を受ける。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</p> <p>・規程の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・責任者の配置について</li><li>・定期的な実施状況の確認等について</li><li>・インフォームド・コンセントの説明時の同席者及び標準的な説明内容その他必要な実施の方法について</li></ul>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者は、診療録センター長として指名された病院長補佐を選任し、診療録保管・管理及び監査等の報告を受け、運用等の管理を行っている。</p>	

管理に関する業務は以下のとおり

- ・診療録等の量的点検・質的点検
- ・診療録等の閲覧及び貸出
- ・疾病統計業務
- ・診療録等の保管・管理
- ・その他診療録等に関し、必要と認める事項

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（２）名、専任（１）名、兼任（１７）名

うち医師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（６）名

うち薬剤師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（６）名

うち診療放射線技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち臨床検査技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち事務：専従（０）名、専任（０）名、兼任（２）名

・活動の主な内容：

- （１）医療安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- （２）医療安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- （３）医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- （４）医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- （５）院内死亡事例の検証に関すること。
- （６）医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓発に関すること。
- （７）リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。
- （８）医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- （９）他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- （１０）事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- （１１）患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- （１２）事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- （１３）その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
  
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
  
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

- ・監査委員会の開催状況：年 回
- ・活動の主な内容：
  
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 192 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 10 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月 1 回の定例会議において、医療安全管理部門から前月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、相談内容によって該当部署（医療安全管理に係る相談については医事課医療安全係）が対応している。

患者の希望に添った形で相談を受けており、相談の取扱いについては、早期解決に努め、相談情報の秘密保護に万全を期すとともに、患者や家族に不利益を与えないように配慮している。また、相談場所として、プライバシーを守れる部屋を設置して対応している。なお、苦情相談専用番号は設置していないが、各部署と連携を取り、解決にあたっている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）



⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象に年2回の医療安全に関する講習会を実施しており、全職員が受講できるように複数回のビデオ講習会を実施している。その他、職種別（新規（中途）採用医師、研修医、看護師・コメディカル）に医療に係る安全管理のための研修会を随時実施している。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に平成29年度から参加させる予定である。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年4月4日付で「病院機能評価 (機能種別版評価項目3rdG: Ver. 1.0) 一般病院2」に認定。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 HP、冊子等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	

(様式第8)

口大医総第551号  
平成28年9月7日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人山口大学長  
岡 正 朗 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成28年9月末までに「山口大学医学部附属病院医療事故防止規則」を一部改正し、医療安全管理責任者の配置及び本責任者に「安全・個人情報管理」を所掌する副病院長をもって充てる旨を記載する予定である。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品安全管理責任者の活動として、以下の取組を実施（予定含む）している。

・収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Expressで病院全職員へ周知すると共に、最重要、重要な項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を平成28年9月末までに構築する。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部DIセンターで関連書類を管理する。

・既承認薬の「適応外使用」は、リスク面から分類して対応し、医薬品・医療機器の適応外使用時の説明事項等を定め、適正に対応する体制を平成28年9月末までに構築する予定である。

・未承認薬の使用にあたっては、臨床研究センターに届出を行い、倫理委員会に付議される流れとなっており、検討状況や結果等については、病院運営審議会及び病院連絡協議会において報告し、情報の共有化を図っている。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

「インフォームド・コンセント責任者」に病院長補佐（診療、教育、研究、医療連携担当）を充て、平成28年9月末までに、その旨と責務を「インフォームド・コンセントマニュアル」に明記する予定である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

医療を受ける者に対する説明の実施方法については、既存の「インフォームド・コンセントマニュアル」に記載しているが、医療法施行規則の改正に伴い、平成28年9月末までに記載内容を見直す予定である。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

本部事務局に既設の公益通報窓口を利用した形で整理し、平成28年9月末までに「国立大学法人山口大学医学部附属病院内部通報取扱規則」を制定する予定である。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

重大な問題等が発生した場合における速やかな調査・分析、問題の原因分析の結果を活用した医療安全のための改善策の立案・実施、従業者への周知、改善策の実施状況の調査及び必要に応じた改善策の更なる見直しについては、既に院内の医療安全管理委員会において対応している。

また、医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認については、平成29年度の実施に向けて検討中である。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

高難度新規医療技術の提供の適否を確認・審査する部門を平成29年3月末までに設置予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

部門の設置に併せて平成29年3月末までに制定予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門を平成29年3月末までに設置予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

部門の設置に併せて平成29年3月末までに制定予定である。

### 13. 監査委員会を設置するための予定措置

監査委員会の設置に向け、「国立大学法人山口大学医学部附属病院監査委員会規則」を平成29年3月末までに制定する予定である。

### 14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。

今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に平成29年度から行う予定である。

### 15. 職員研修を実施するための予定措置

既に全職員を対象として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての内容を含んだ研修会を年2回実施している（直近実績：平成27年度は受講率100%）。

また、特定機能病院における安全管理に関する事項や監査委員会からの意見、高度医療を提供するために必要な事項についても、研修内容に加えていく予定である。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に平成29年度から参加させる予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

所属職員：専従（2）名、専任（1）名、兼任（17）名

うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（6）名

うち薬剤師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（6）名

うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名

うち事務：専従（0）名、専任（0）名、兼任（2）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医療安全推進部（医療安全管理部門）に専任の医師1名と専従の看護師2名を配置済みであり、薬剤師については、5割以上従事する薬剤師1名を平成28年10月から配置することを決定した。平成30年度までに5割以上従事する医師、薬剤師を複数名、平成32年度までに専従の医師、薬剤師を配置できるよう今後検討していく。